

2 分析結果

2.1. 保護者の生活状況

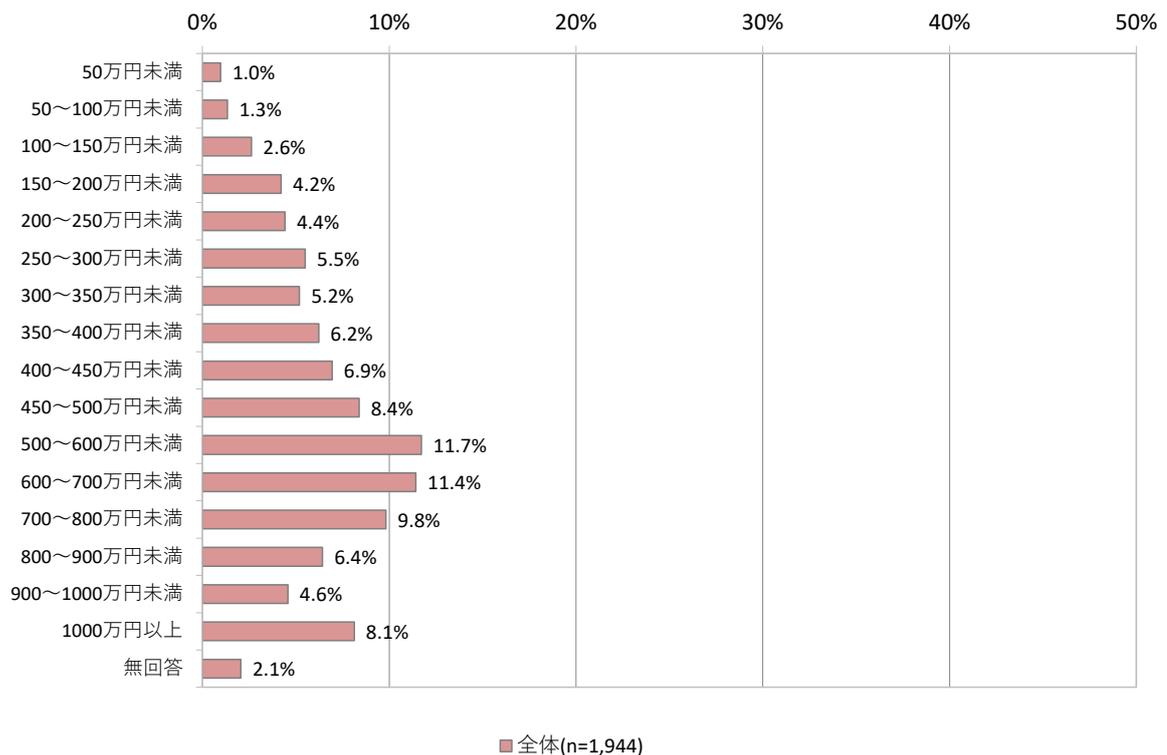
2.1.1. 経済的な状況、暮らしの状況

(1) 世帯全体の年間収入

保護者票問 20

世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(SA)

令和3年のおおよその年間収入(税込)については、「500～600万円未満」が11.7%と最も高く、次いで、「600～700万円未満」の11.4%、「700～800万円未満」の9.8%の順となっている。



本報告書においては、世帯の年間収入の水準について、「令和3年 子供の生活状況調査の分析報告書」（内閣府・令和3年12月）を参考に、「子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえた下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行った。

- ① 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「50万円未満」は25万円、「1,000万円以上」は1,050万円とする。）
- ② 上記の値を、世帯人数の平方根をとったもので除す。
例) 「3人世帯」が世帯収入を「300～350万円」と回答した場合
【世帯収入】325万円 ÷ 【世帯人数の平方根】 $\sqrt{3}$
= 【等価世帯収入】187.6万円
- ③ 上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、「中央値の2分の1未満である層」「中央値の2分の1以上中央値未満である層」「中央値以上である層」に分類した。（本調査における「等価世帯収入の中央値」は245.97万円）

分類の結果、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当するのは12.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは34.8%、「中央値以上」に該当するのは50.7%となった。

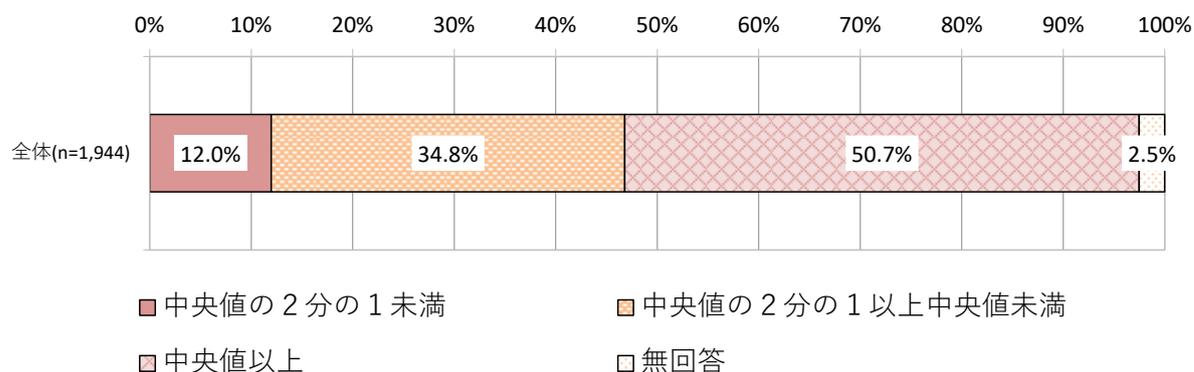
本報告書では、特に「中央値の2分の1未満」に該当する世帯を、「貧困」の課題を抱えている世帯であると考え、集計・分析を行った。また、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当する世帯も「貧困」の課題を抱えるリスクが高い世帯であると考え、回答傾向の把握を行った。

世帯の状況別に等価世帯収入の水準をみると、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、「ひとり親世帯」では39.5%、「母子世帯」のみでは43.7%となっており、「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

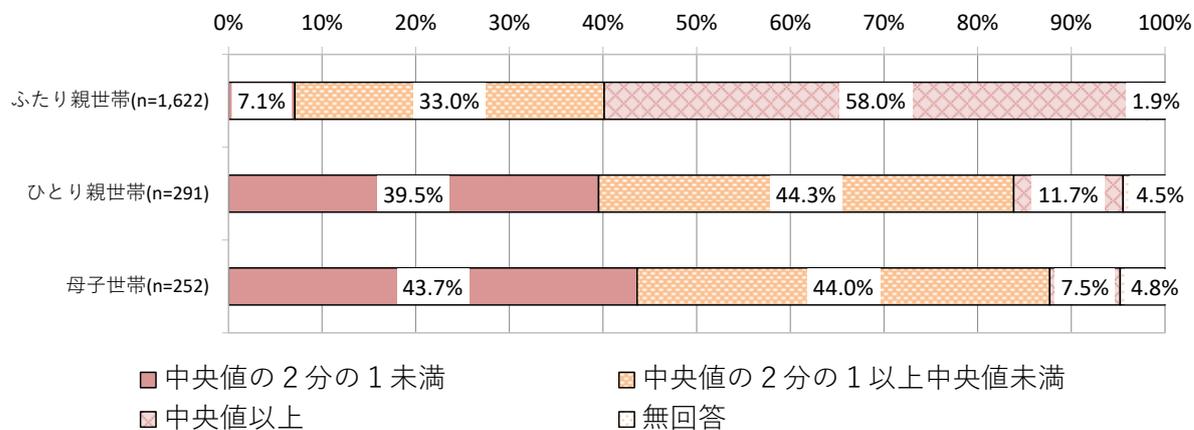
母親・父親の学歴の状況別にみると、母親・父親ともに、学歴が高いほど等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する割合は低くなっている。母親・父親の学歴の組み合わせでみた場合には、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、「父母のいずれも、大学またはそれ以上」の場合は3.1%、「父母のいずれかが、大学またはそれ以上」の場合には5.0%、「その他（不明等を含む）」の場合には16.3%となっている。

また、家庭での使用言語の状況（日本語以外の言語使用の状況）別にみると、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」又は「日本語以外の言語を使うことが多い」に該当する世帯では、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」である割合は26.2%で、「日本語のみを使用している」世帯と比べて高くなっている。

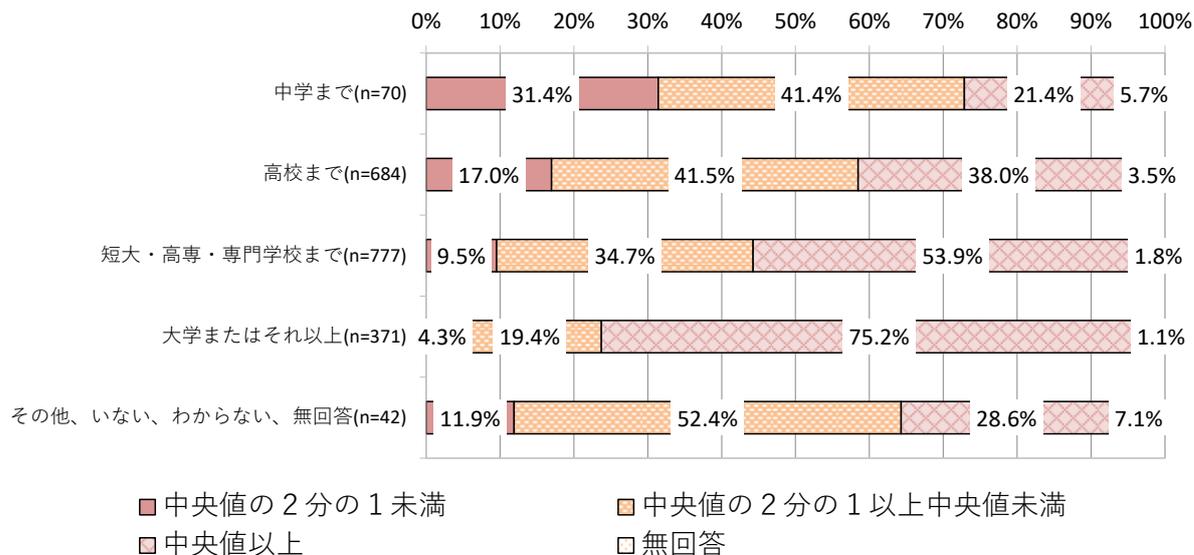
※「等価世帯収入」による分類（全体）



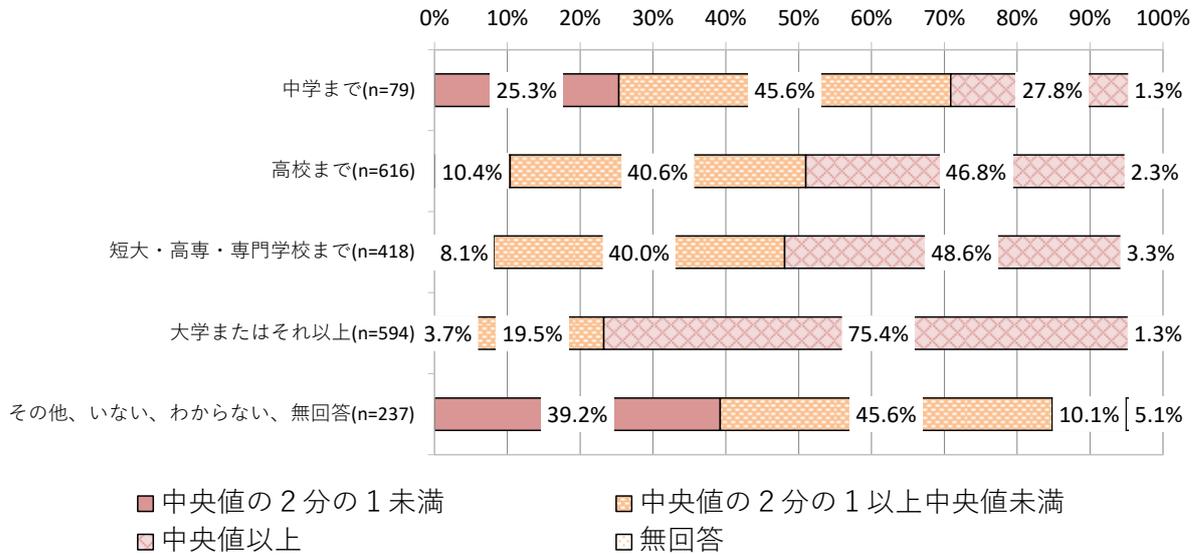
※「等価世帯収入」による分類（世帯の状況別）



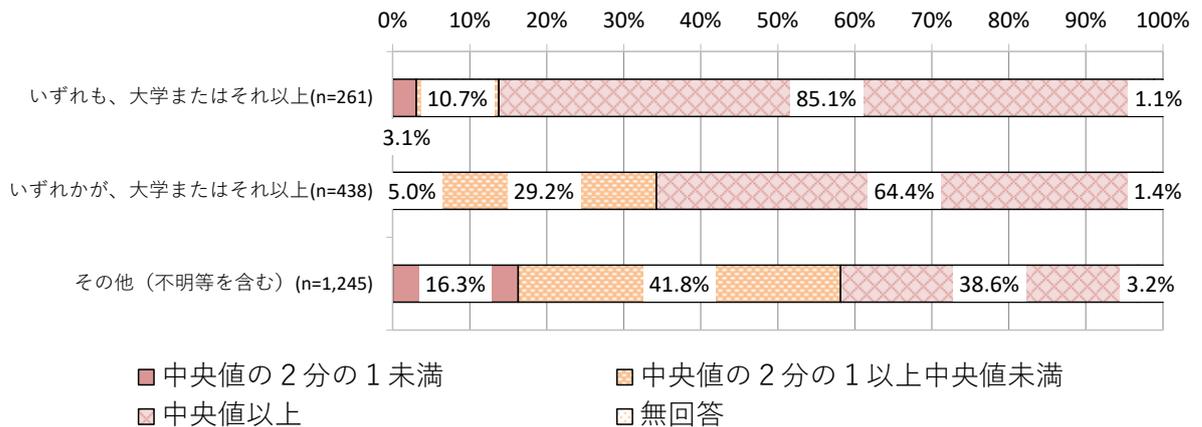
※「等価世帯収入」による分類（母親の最終学歴別）



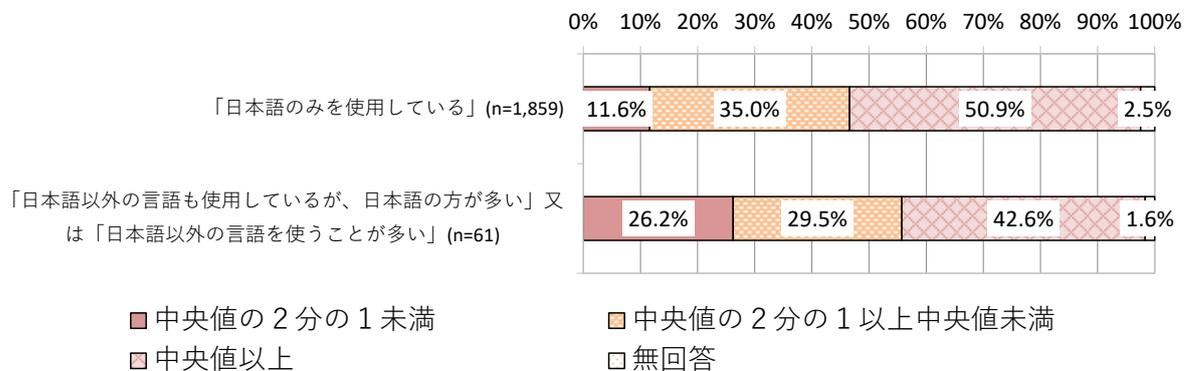
※「等価世帯収入」による分類（父親の最終学歴別）



※「等価世帯収入」による分類（母親・父親の最終学歴別）



※「等価世帯収入」による分類（日本語以外の言語使用別）



(2) 暮らしの状況についての認識

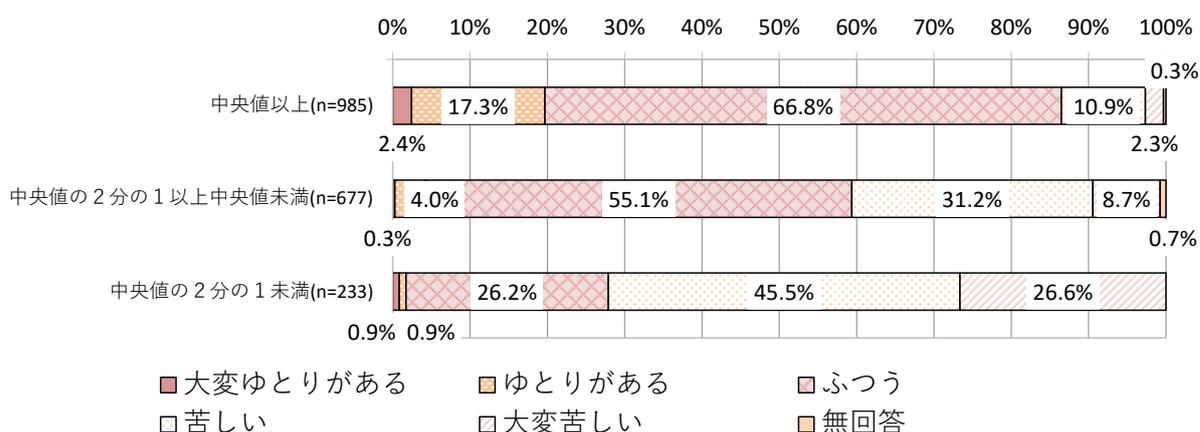
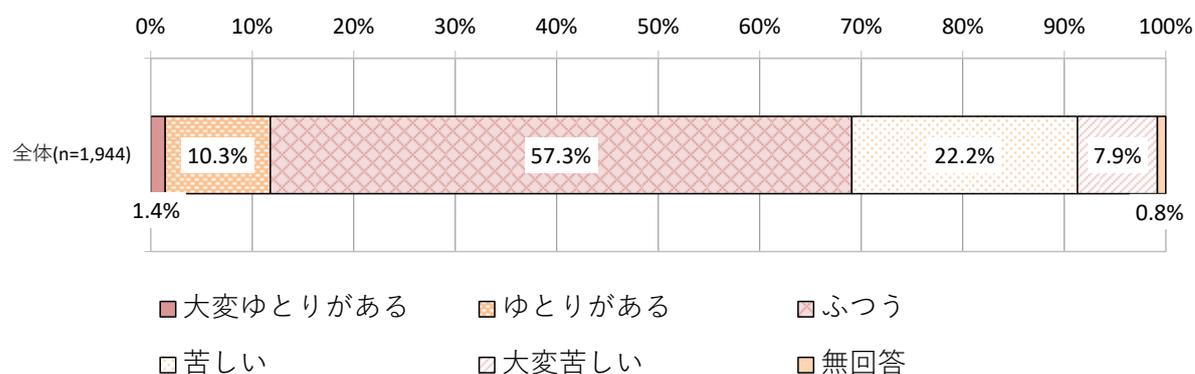
保護者票問 19

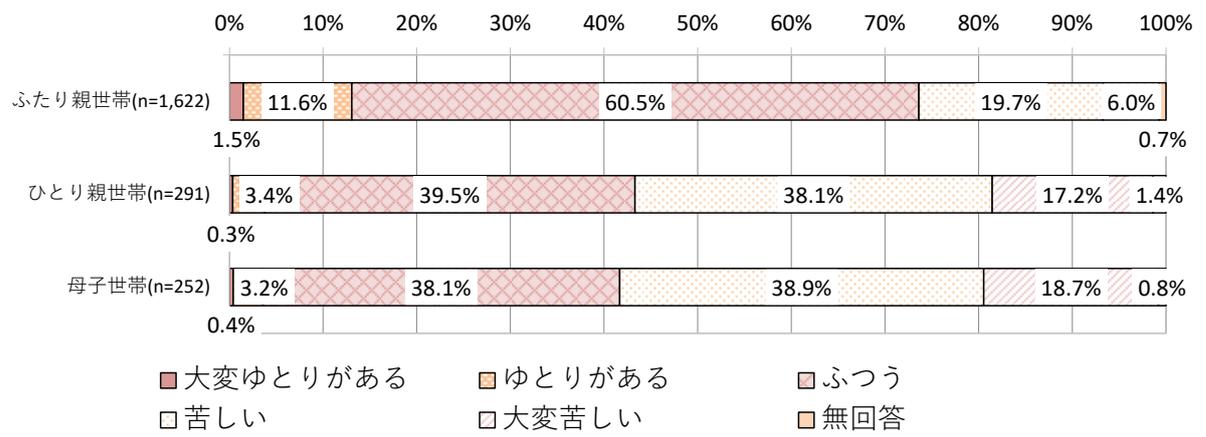
あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(SA)

現在の暮らしの状況をどのように感じているかについては、「大変ゆとりがある」が 1.4%、「ゆとりがある」が 10.3%、「ふつう」が 57.3%となっており、合わせて 69.1%となっている。他方で、「苦しい」は 22.2%、「大変苦しい」は 7.9%となっており、合わせた割合は 30.1%となっている。

「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 13.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 39.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 72.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 25.7%、「ひとり親世帯」全体では 55.3%、「母子世帯」のみでは 57.5%となっている。





(3) 食料が買えなかった経験

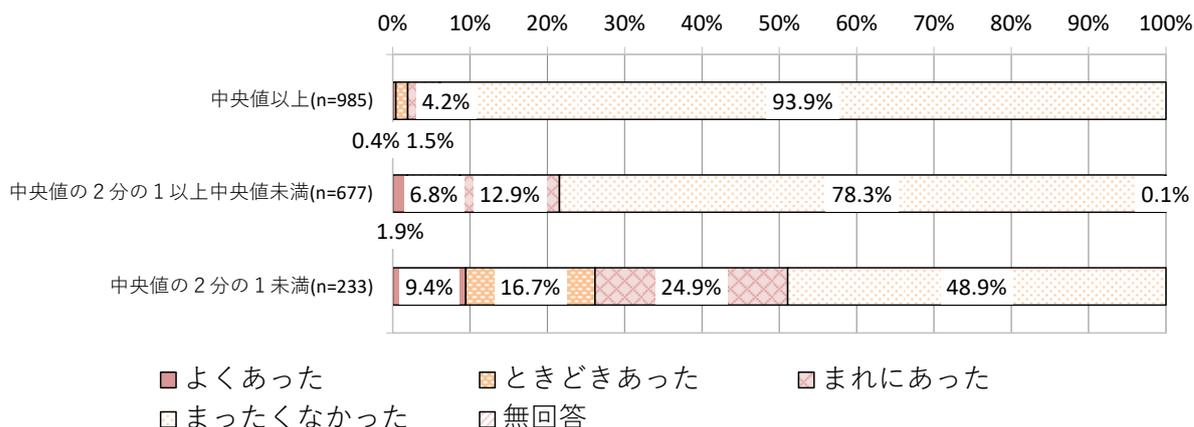
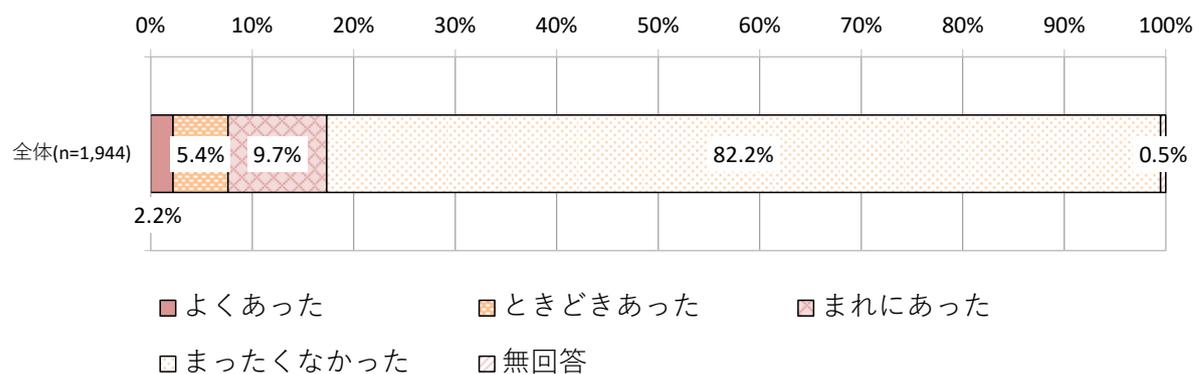
保護者票問 21

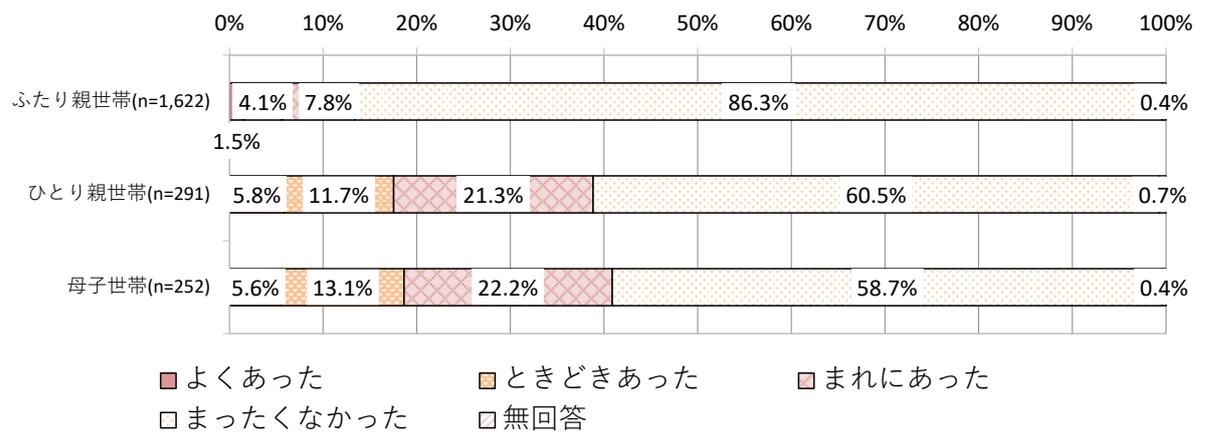
あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(SA)

過去1年間に必要とする食料が買えなかった経験があったかについては、「よくあった」が2.2%、「ときどきあった」が5.4%、「まれにあった」が9.7%となっており、合わせた割合は17.3%となっている。

「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では6.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では21.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では51.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では13.4%、「ひとり親世帯」全体では38.8%、「母子世帯」のみでは40.9%となっている。





(4) 衣服が買えなかった経験

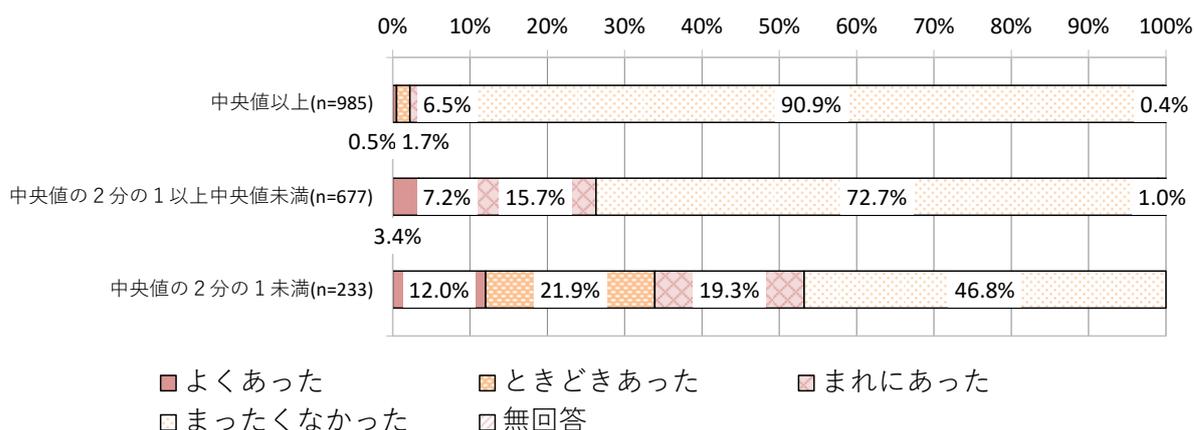
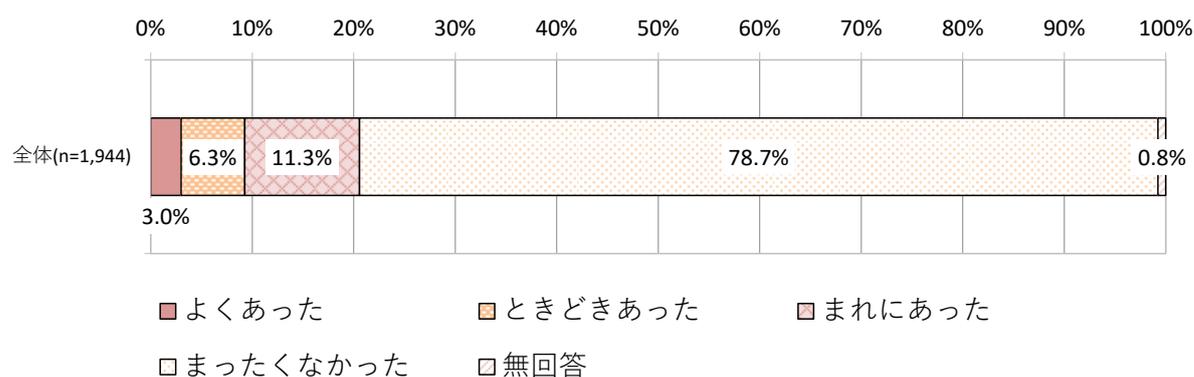
保護者票問 22

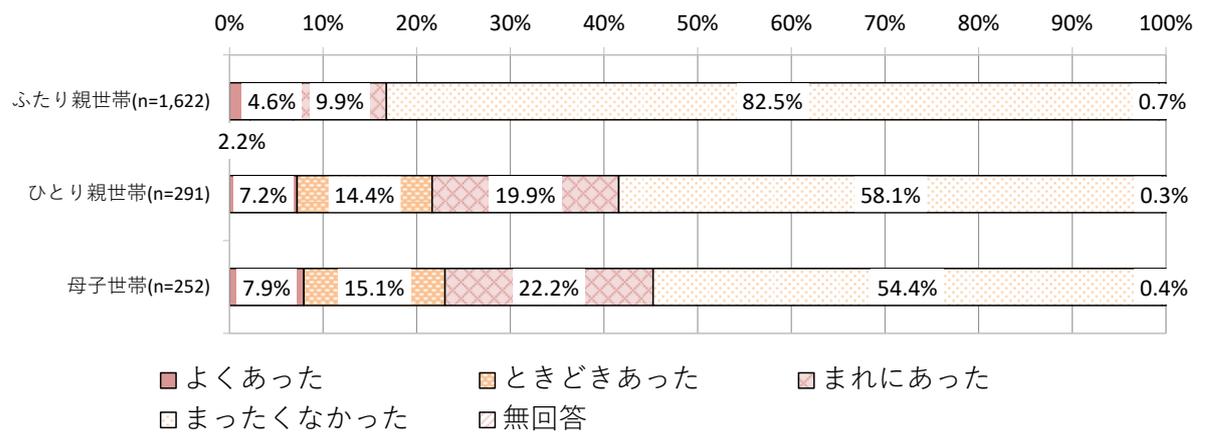
あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(SA)

過去1年間に必要とする衣服が買えなかった経験があったかについては、「よくあった」が3.0%、「ときどきあった」が6.3%、「まれにあった」が11.3%となっており、合わせた割合は20.6%となっている。

「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では8.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では26.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では53.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では16.8%、「ひとり親世帯」全体では41.6%、「母子世帯」のみでは45.2%となっている。





(5) 公共料金における未払いの経験

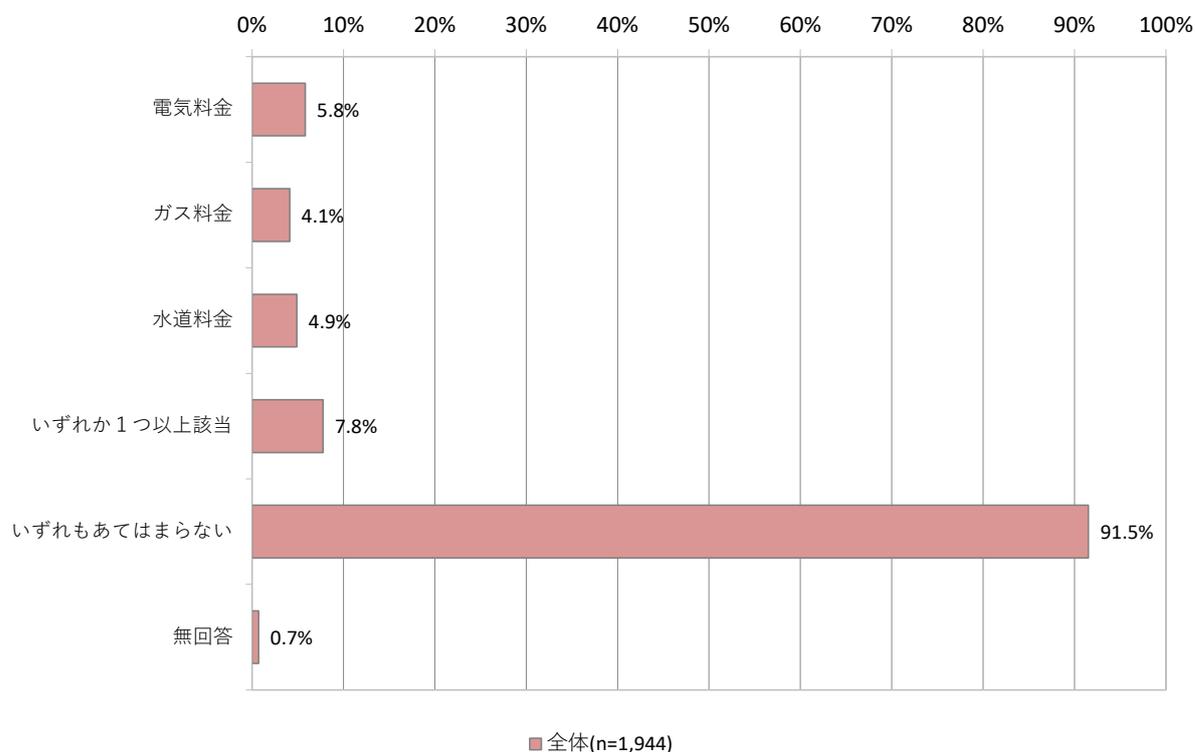
保護者票問 23

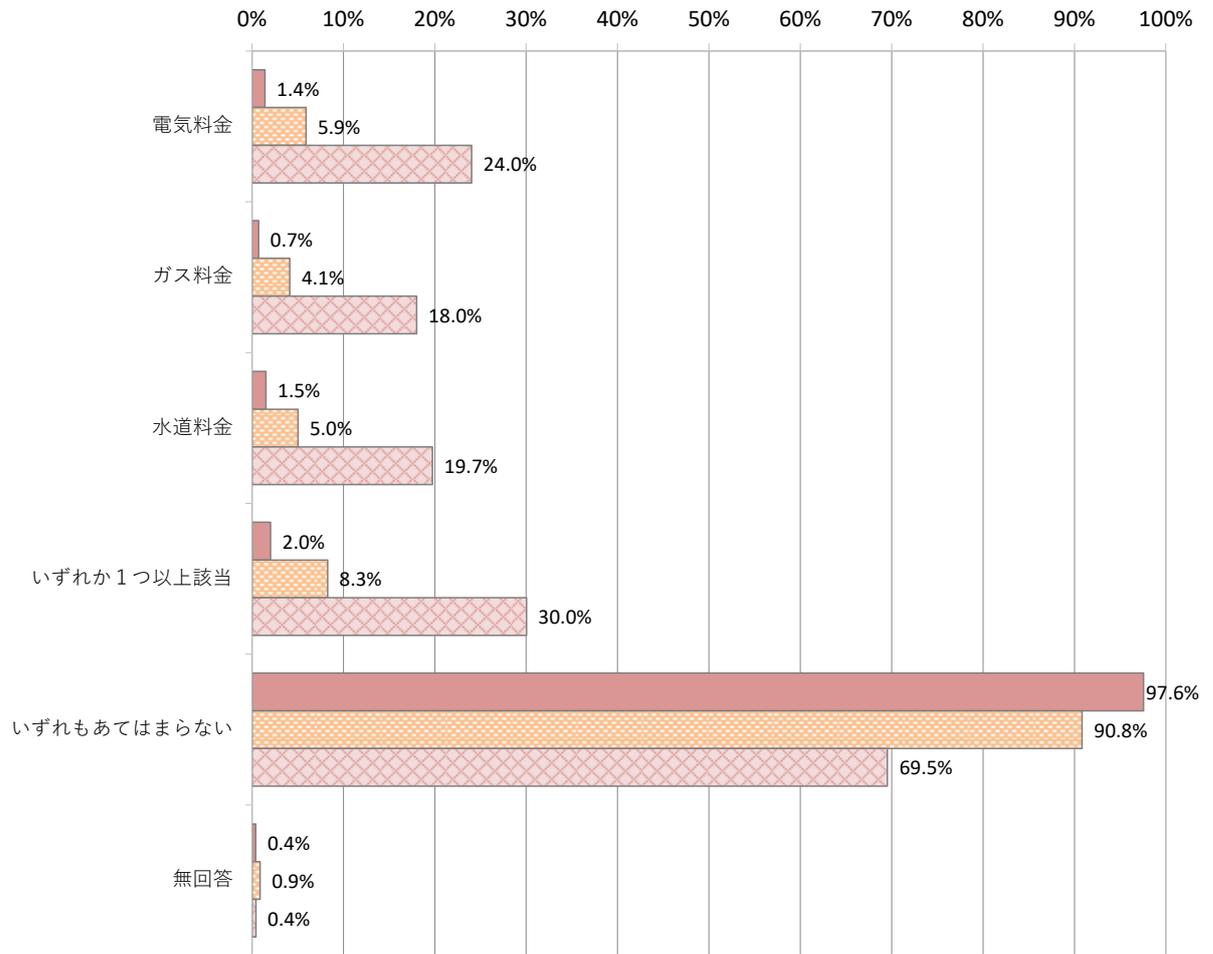
あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(SA)

過去1年間に、「電気料金」、「ガス料金」、「水道料金」について経済的な理由で未払いになったことがあったかについて、「あった」(該当)の割合は、それぞれ5.8%、4.1%、4.9%となっている。また、いずれか1つ以上該当する割合は7.8%となっている。

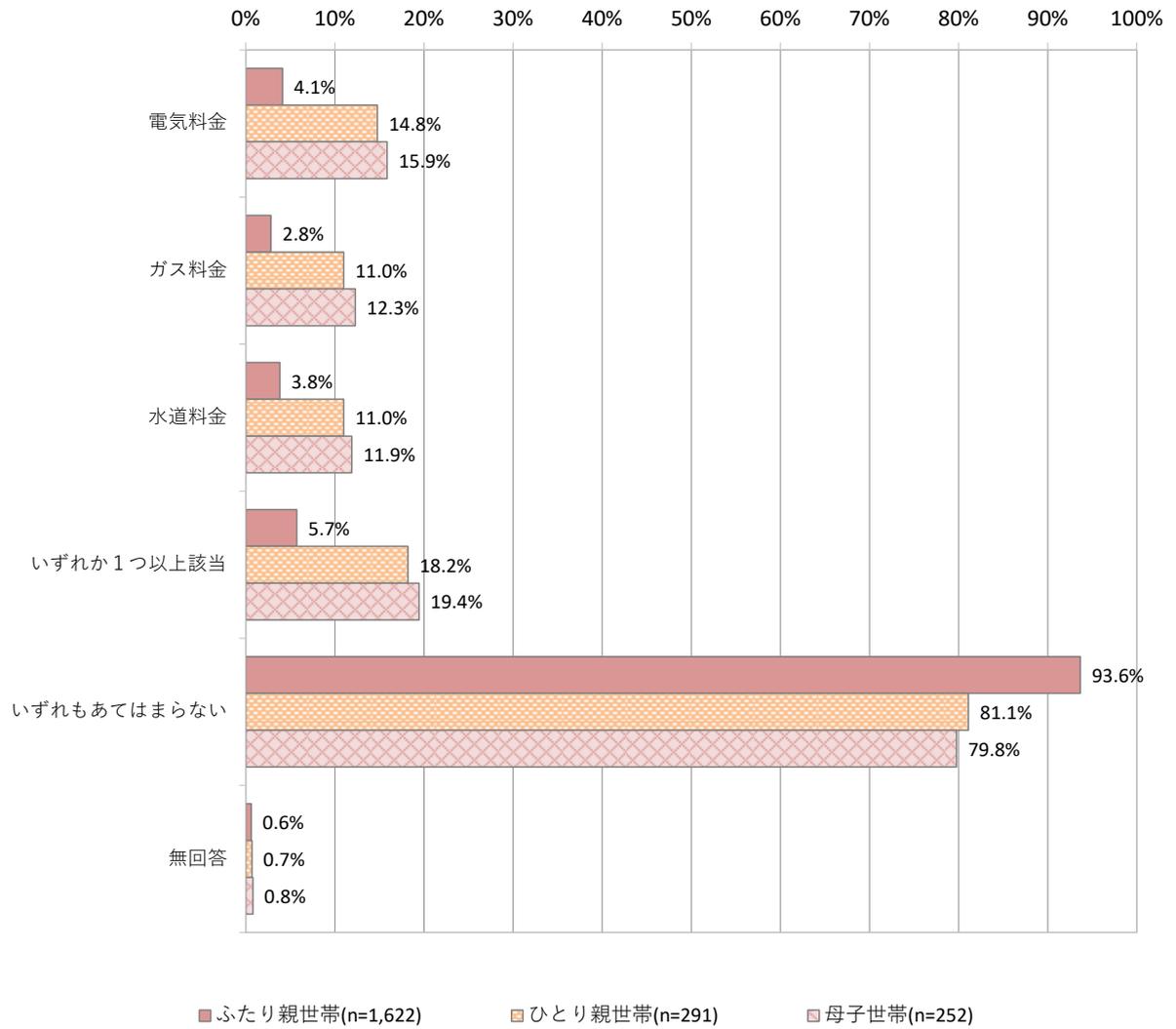
未払いの経験について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「電気料金」は24.0%、「ガス料金」は18.0%、「水道料金」は19.7%が「あった」(該当)となっている。いずれか1つ以上該当する割合は、「中央値以上」の世帯では2.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では8.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では30.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「電気料金」は14.8%、「ガス料金」は11.0%、「水道料金」は11.0%が「あった」(該当)と回答している。いずれか1つ以上該当する割合は、「ふたり親世帯」では5.7%、「ひとり親世帯」全体では18.2%、「母子世帯」のみでは19.4%となっている。





■ 中央値以上(n=985) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=677) ■ 中央値の2分の1未満(n=233)



(6) 養育費の取り決めの有無

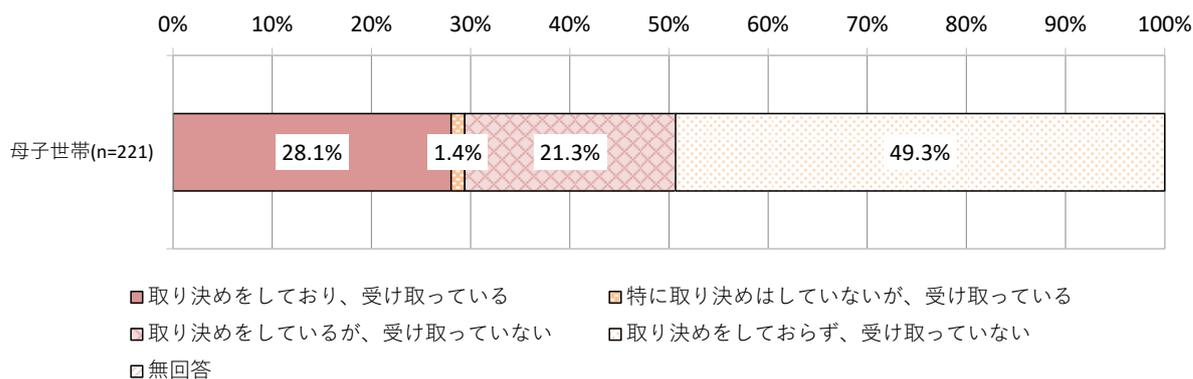
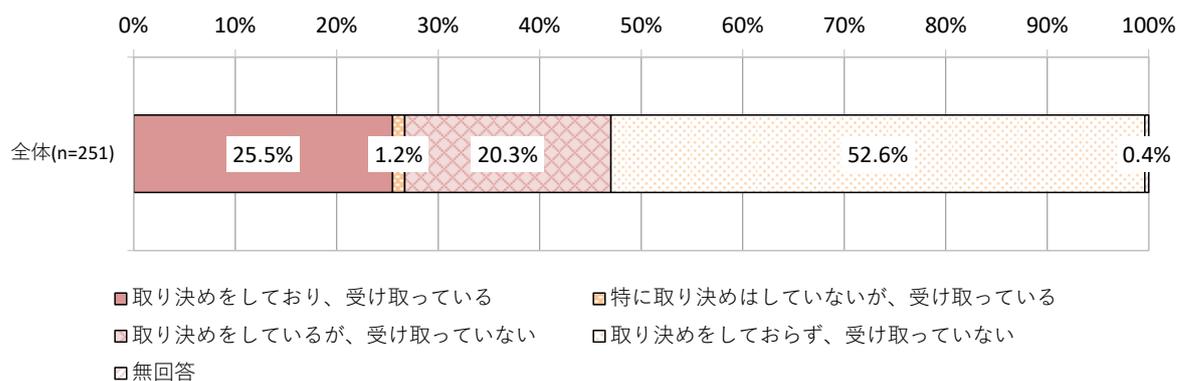
保護者票問7

婚姻の状況の問で「離婚」と答えた場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(SA)

婚姻の状況について「離婚」と回答した方に関し、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしているかについて尋ねた。

取り決めの状況について、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が25.5%、「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」が1.2%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が20.3%、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が52.6%となっている。「受け取っていない」との回答は、合わせると72.9%となっている。

母子世帯のみで集計すると、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が21.3%、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が49.3%となっており、合わせた割合は70.6%となっている。



2.1.2. 就労の状況

(1) 保護者の就労状況

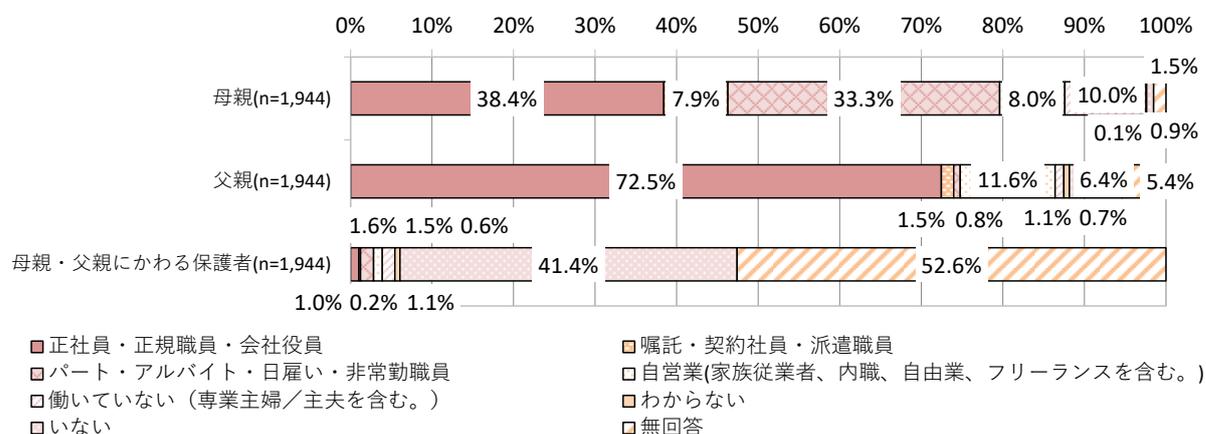
保護者票問 10

お子さんの親又は親にかわる保護者の方の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(SA)

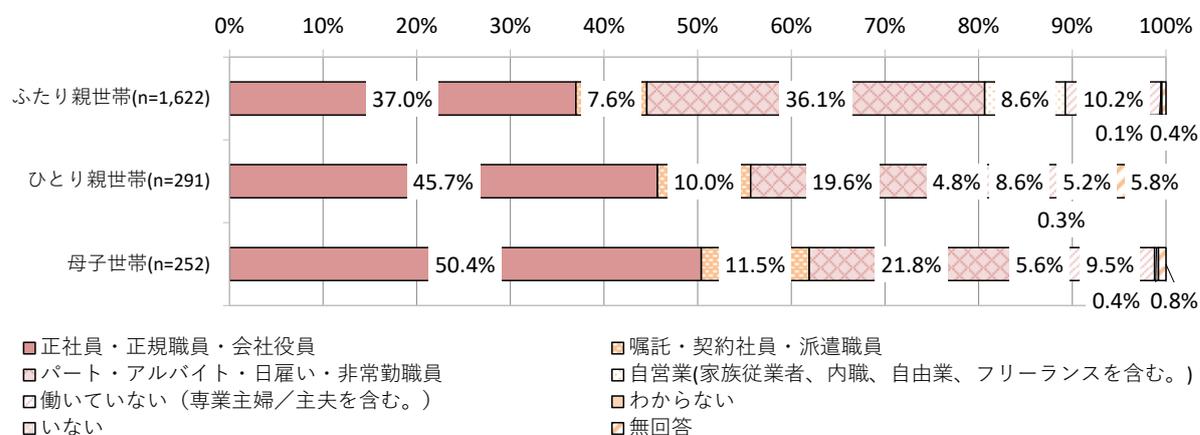
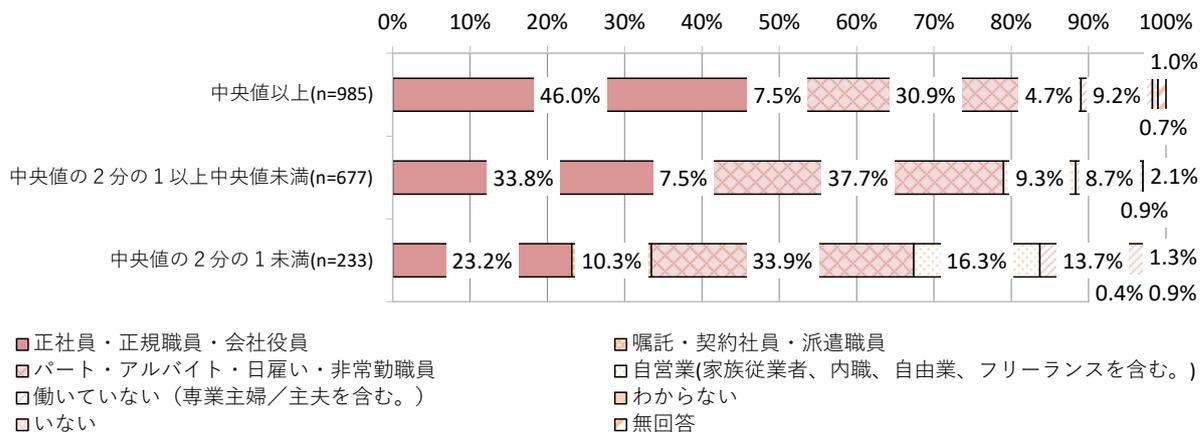
「母親」の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」が 38.4%、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 33.3%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」が 10.0%となっている。また、「父親」の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」が 72.5%、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」が 11.6%となっている。

「母親」の就労状況について等価世帯収入の水準別にみると、世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 33.9%となっており、他方で、「正社員・正規職員・会社役員」は 23.2%と低くなっている。「父親」に関しては、「中央値の2分の1未満」の世帯では「正社員・正規職員・会社役員」が 28.8%と他の世帯と比べて低くなっており、他方で、「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」「いない」がそれぞれ 21.0%、23.6%と高くなっている。

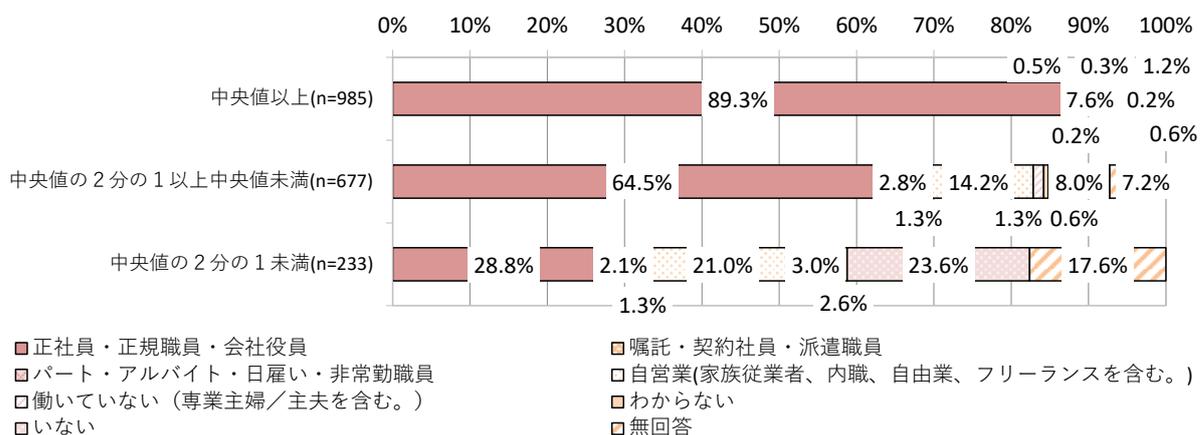
また、「母親」の就労状況について世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では 37.0%、「ひとり親世帯」全体では 45.7%、「母子世帯」のみでは 50.4%となっている。



※母親



※父親



(2) 働いていない理由

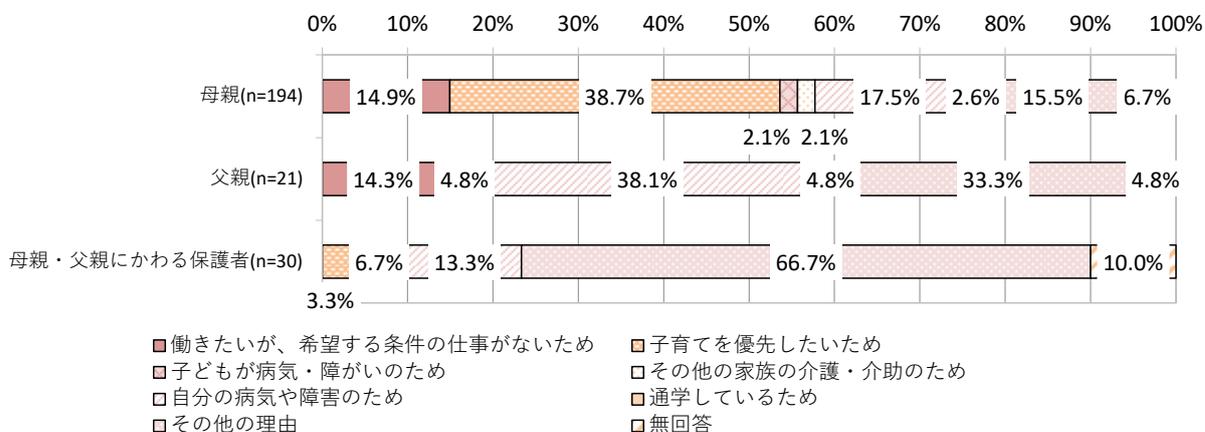
保護者票問 11

就労状況の問で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(SA)

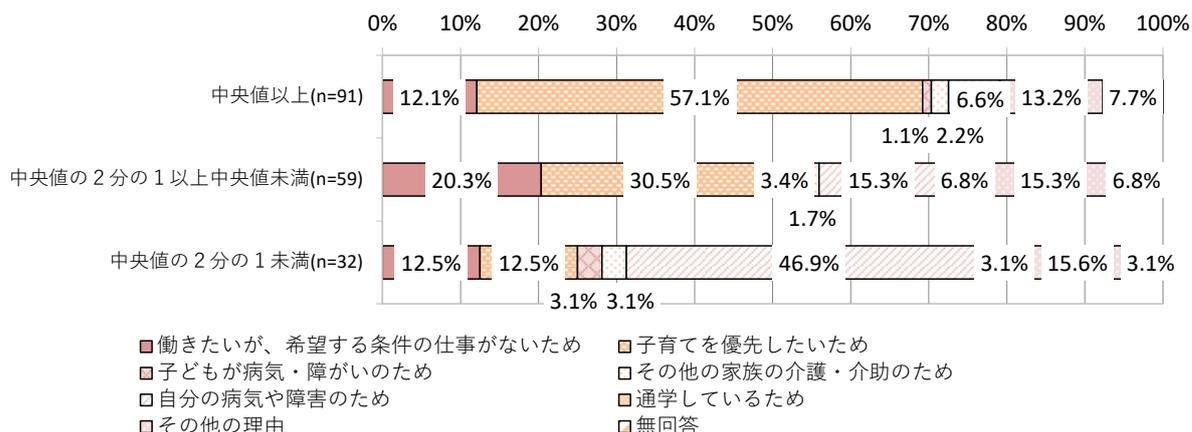
就労状況について「働いていない（専業主婦／主夫を含む。）」と回答した方に関し、働いていない理由を尋ねた。

働いていない最も主な理由として、「母親」では、「子育てを優先したいため」が 38.7%、「自分の病気や障がいのため」が 17.5%となっている。

「母親」が働いていない理由について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「自分の病気や障害のため」が 46.9%で、他の世帯と比べて高くなっている。



※母親



2.1.3. 保育の状況

(1) 子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等

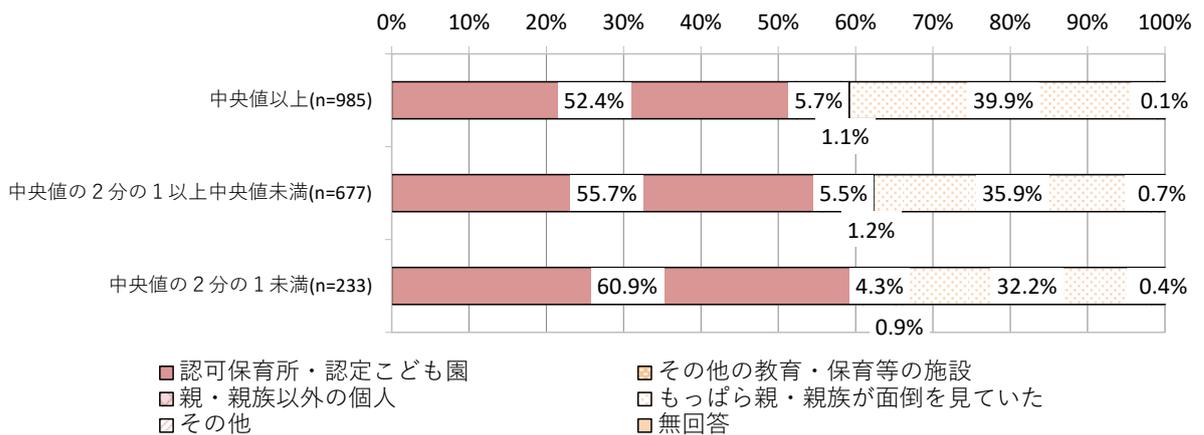
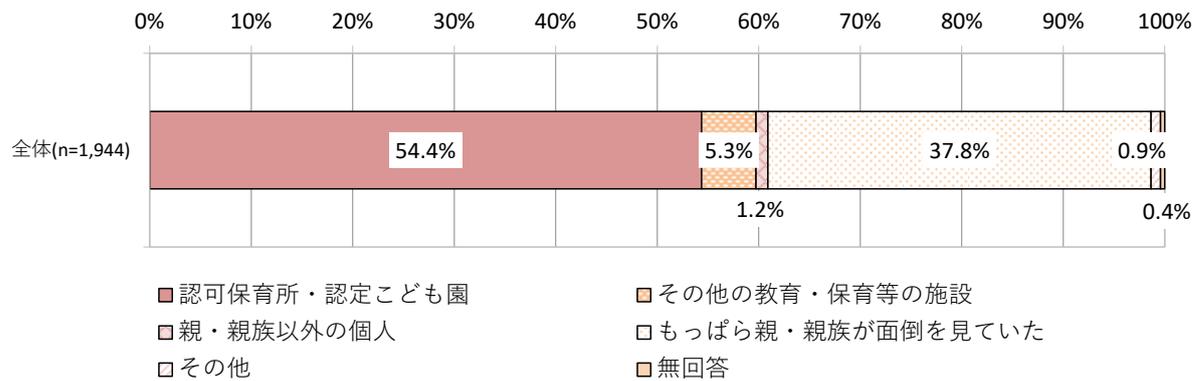
保護者票問 12

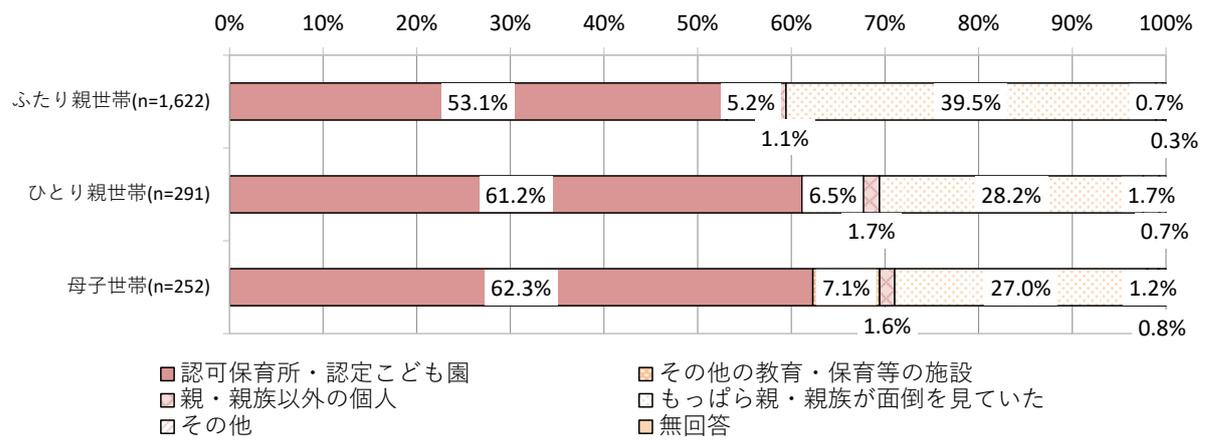
お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。(SA)

子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等で最も主なものについては、「認可保育所・認定こども園」が54.4%、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が37.8%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」は32.2%で他の世帯と比べて低く、「認可保育所・認定こども園」は60.9%と高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合が低く、「認可保育所・認定こども園」の割合が高くなっている。





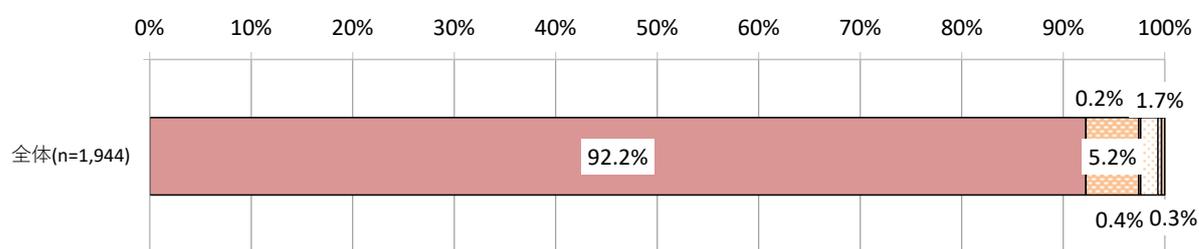
(2) 子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等

保護者票問 13

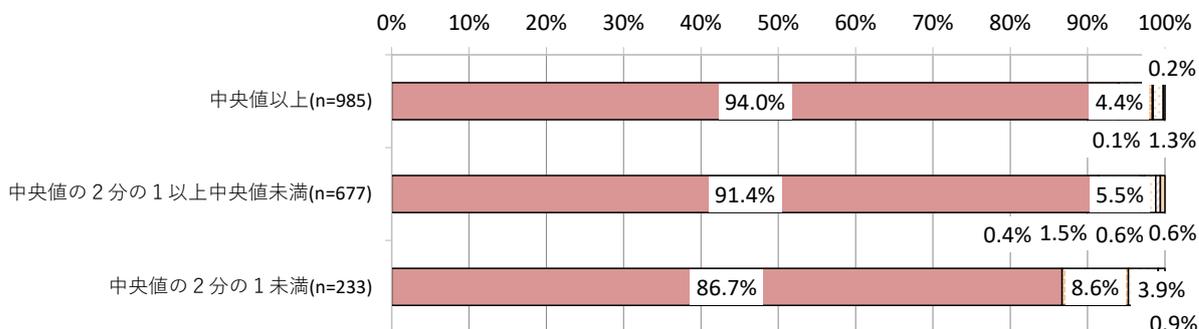
お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（SA）

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等は、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が92.2%、「その他の教育・保育等の施設」が5.2%となっている。

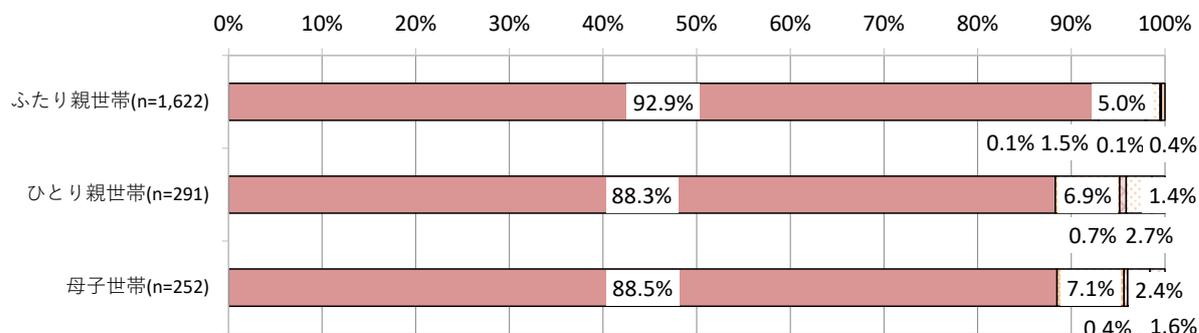
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「認可保育所・認定こども園」は86.7%で他の世帯と比べて低く、「その他の教育・保育等の施設」は8.6%と高くなっている。



■ 幼稚園・認可保育所・認定こども園
■ その他の教育・保育等の施設
■ 親・親族以外の個人
■ もっぱら親・親族が面倒を見ていた
■ その他
■ 無回答



■ 幼稚園・認可保育所・認定こども園
■ その他の教育・保育等の施設
■ 親・親族以外の個人
■ もっぱら親・親族が面倒を見ていた
■ その他
■ 無回答



■ 幼稚園・認可保育所・認定こども園
■ その他の教育・保育等の施設
■ 親・親族以外の個人
■ もっぱら親・親族が面倒を見ていた
■ その他
■ 無回答

2.1.4. 子どもとの関わり方

(1) テレビ等のルールについて

保護者票問 14

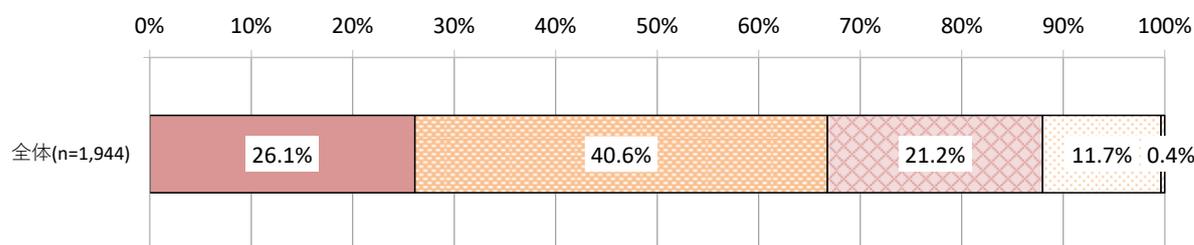
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

a. テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

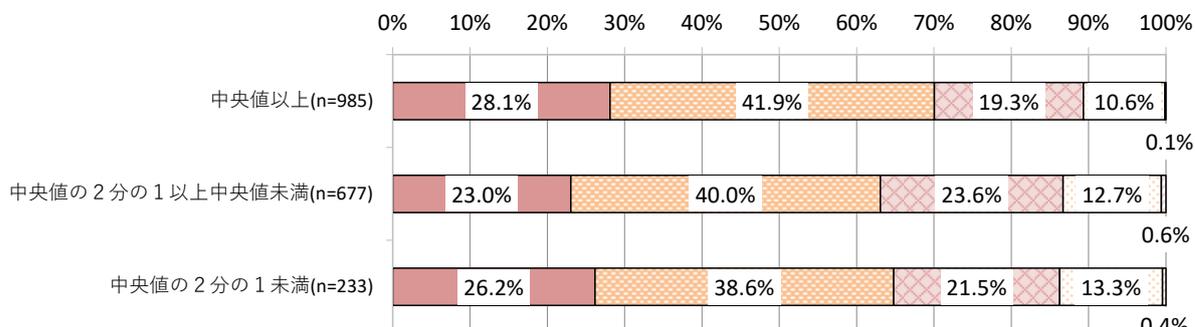
テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、「あてはまる」は 26.1%、「どちらかといえば、あてはまる」は 40.6%となっており、合わせた割合は 66.8%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は 21.2%、「あてはまらない」は 11.7%となっており、合わせた割合は 32.9%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 29.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 36.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 34.8%となっている。

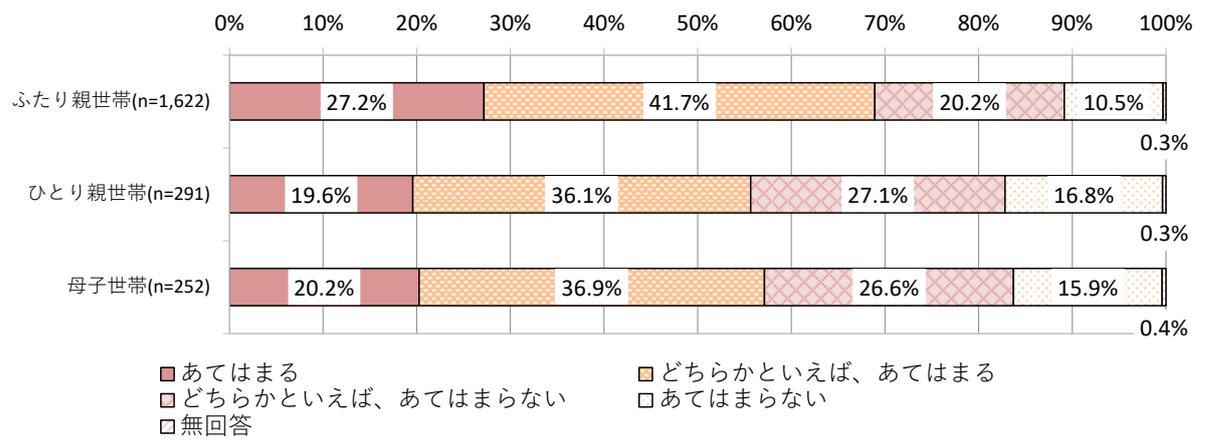
世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 30.8%、「ひとり親世帯」全体では 44.0%、「母子世帯」のみでは 42.5%となっている。



■ あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまらない
 ■ あてはまらない
 □ 無回答



■ あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまらない
 ■ あてはまらない
 □ 無回答



(2) 本や新聞を読むことについて

保護者票問 14

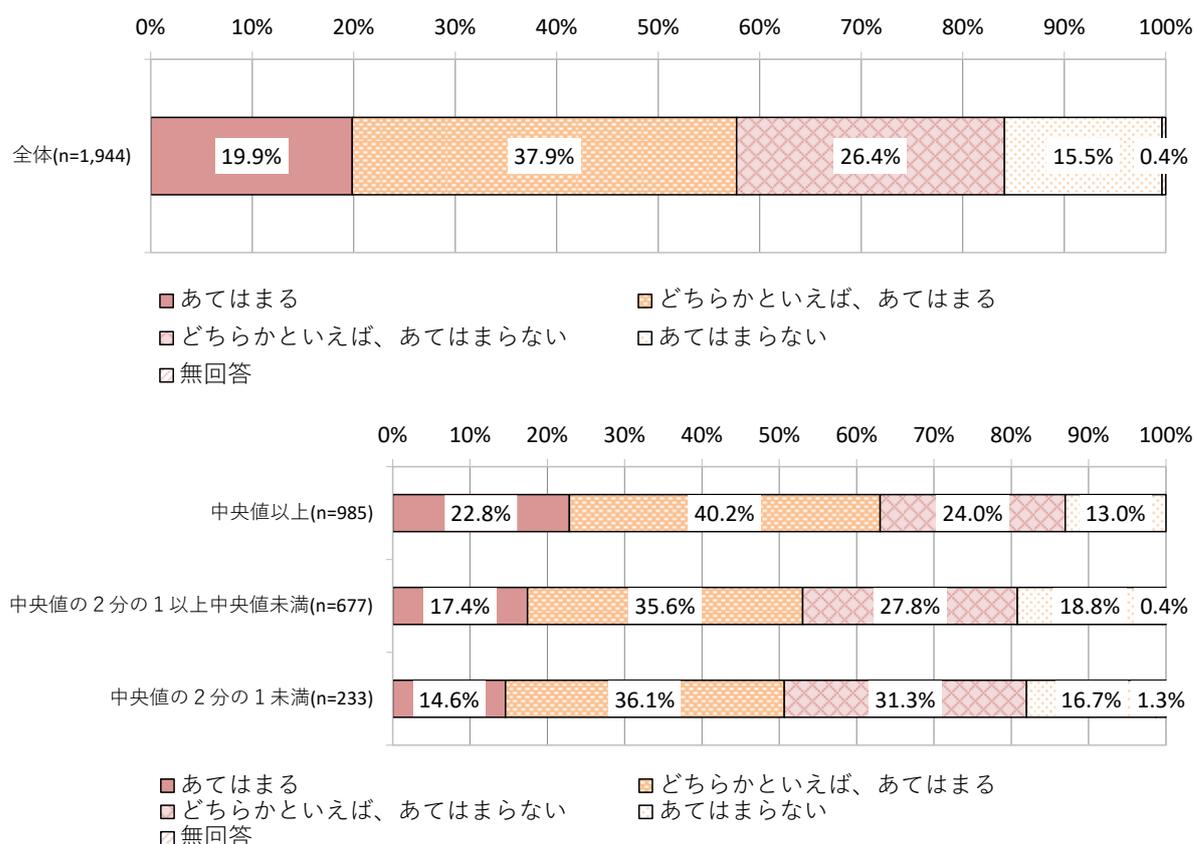
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

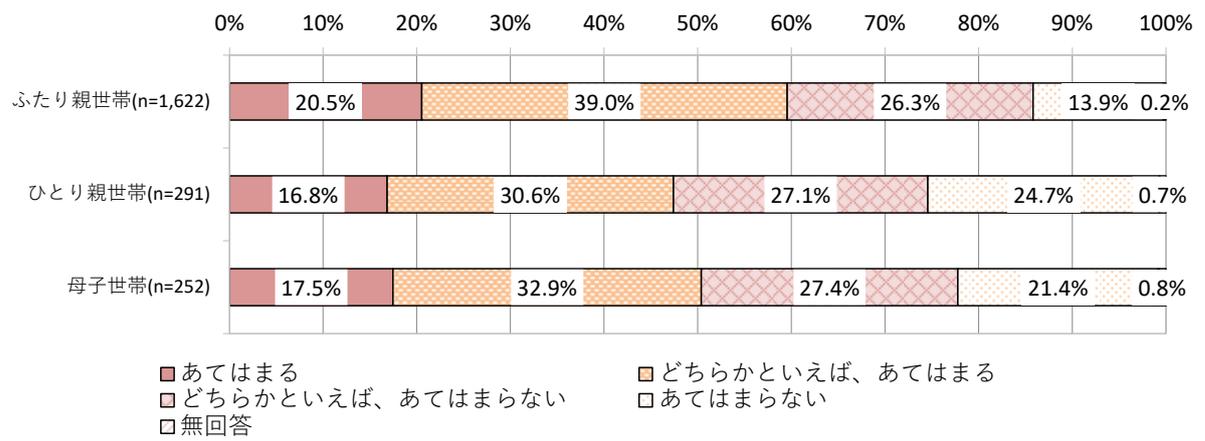
b. お子さんに本や新聞を読むように勧めている

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、「あてはまる」は 19.9%、「どちらかといえば、あてはまる」は 37.9%となっており、合わせた割合は 57.7%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は 26.4%、「あてはまらない」は 15.5%となっており、合わせた割合は 41.9%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 37.0%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 46.5%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 48.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 40.2%、「ひとり親世帯」全体では 51.9%、「母子世帯」のみでは 48.8%となっている。





(3) 絵本の読み聞かせについて

保護者票問 14

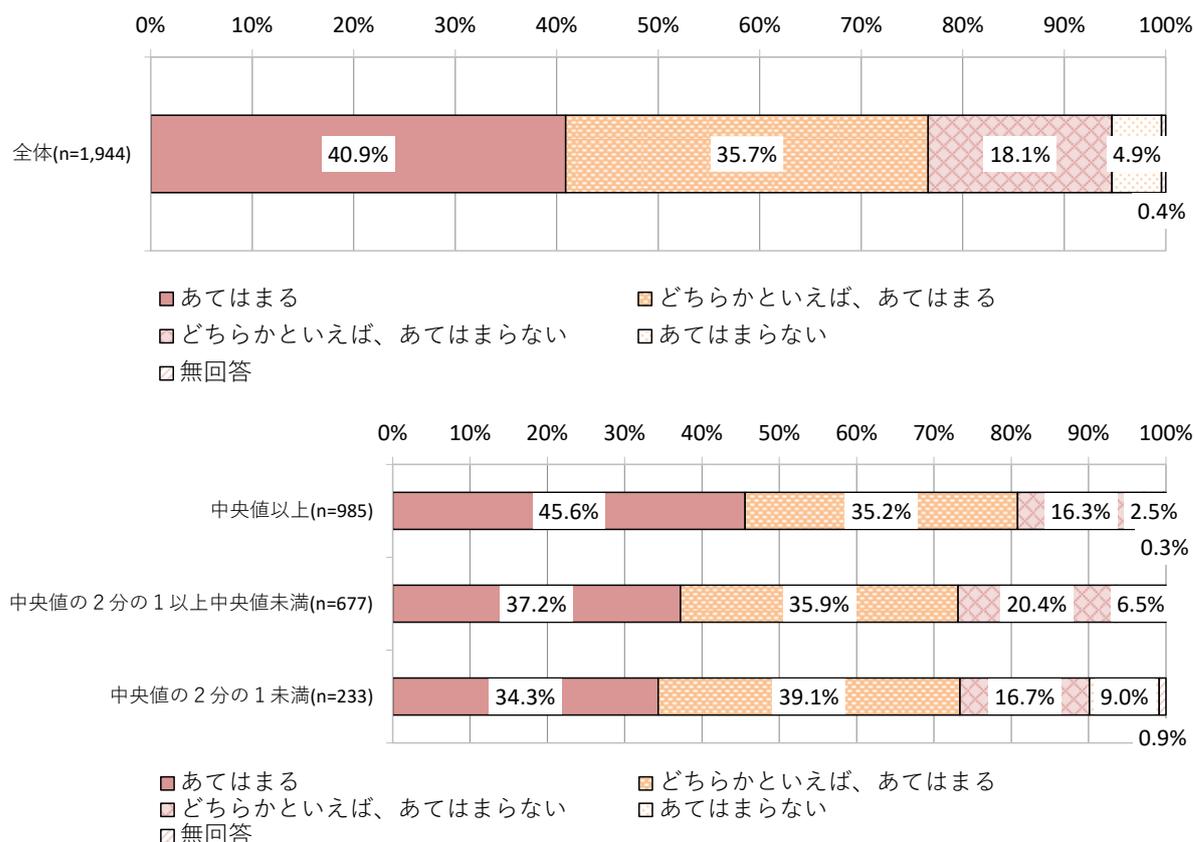
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

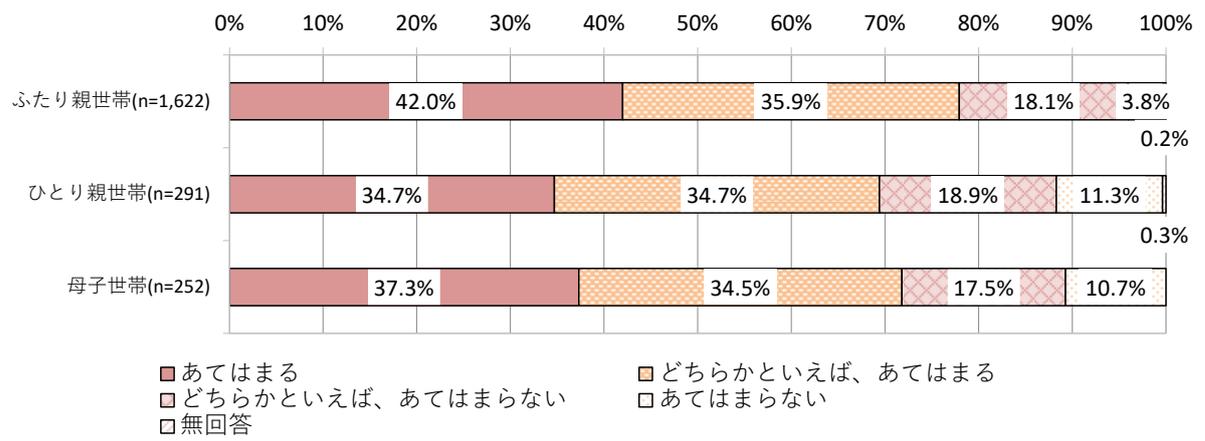
c. お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

子どもが小さいころに絵本の読み聞かせをしたかについて、「あてはまる」は 40.9%、「どちらかといえば、あてはまる」は 35.7%となっており、合わせた割合は 76.6%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は 18.1%、「あてはまらない」は 4.9%となっており、合わせた割合は 23.0%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 18.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 26.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 25.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 21.8%、「ひとり親世帯」全体では 30.2%、「母子世帯」のみでは 28.2%となっている。





(4) 勉強や成績のことについて

保護者票問 14

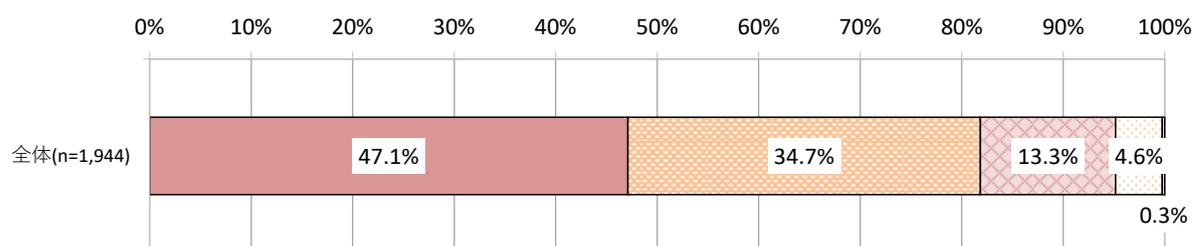
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

d. お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

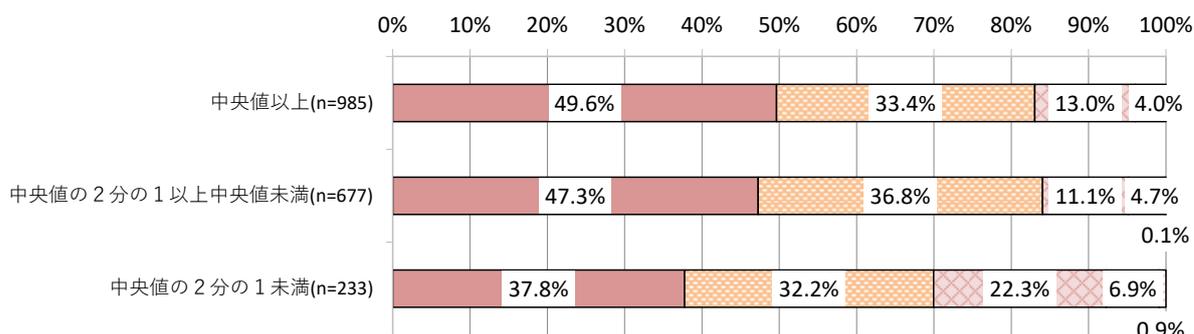
子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、「あてはまる」は47.1%、「どちらかといえば、あてはまる」は34.7%となっており、合わせた割合は81.8%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は13.3%、「あてはまらない」は4.6%となっており、合わせた割合は17.9%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では17.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では15.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では29.2%となっている。

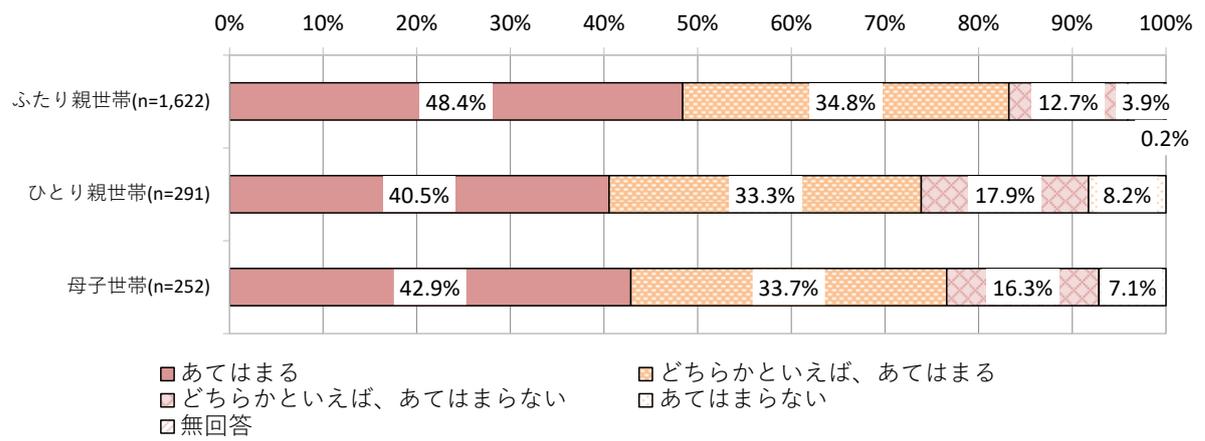
世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では16.6%、「ひとり親世帯」全体では26.1%、「母子世帯」のみでは23.4%となっている。



■ あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまらない
 ■ あてはまらない
 □ 無回答



■ あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまらない
 ■ あてはまらない
 □ 無回答



(5) ニュースの話について

保護者票問 14

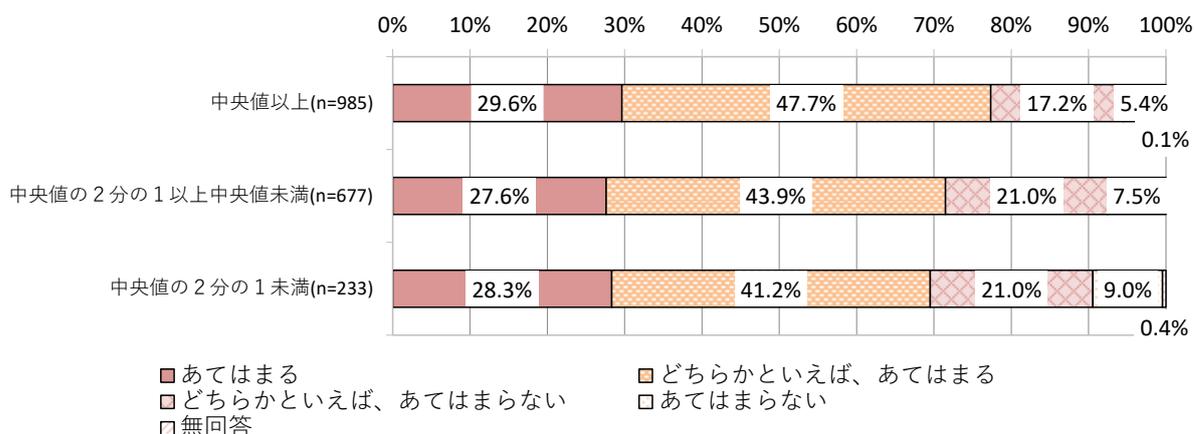
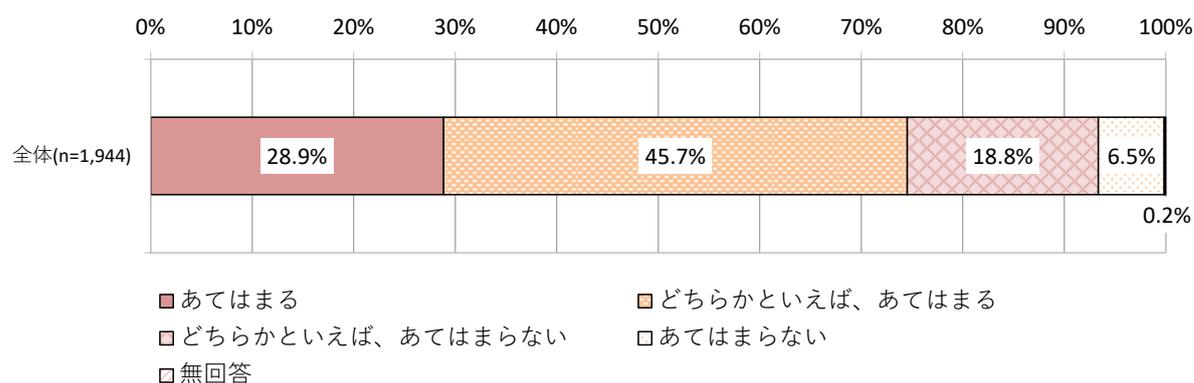
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

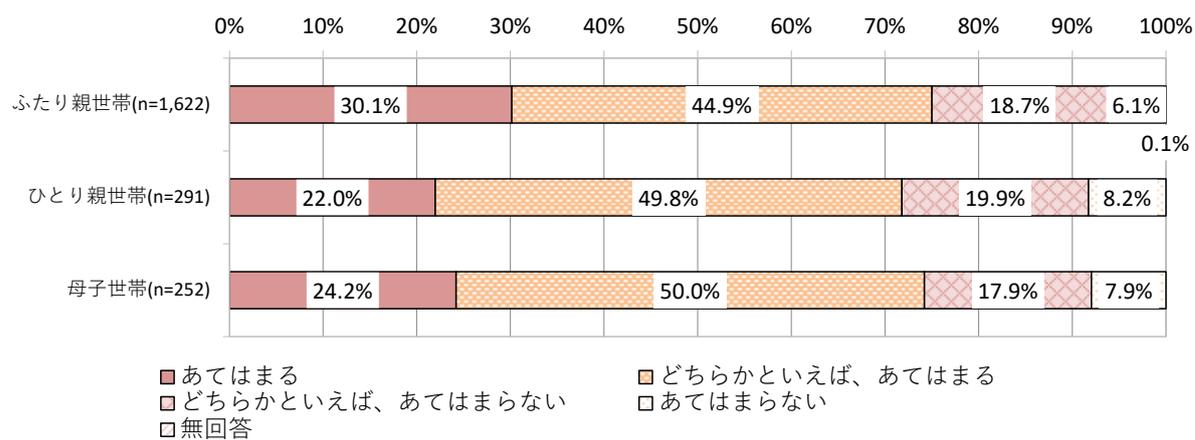
e. ニュースの話をする

ニュースの話をするかについて、「あてはまる」は 28.9%、「どちらかといえば、あてはまる」は 45.7%となっており、合わせた割合は 74.5%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は 18.8%、「あてはまらない」は 6.5%となっており、合わせた割合は 25.3%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 22.5%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 28.5%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 30.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 24.8%、「ひとり親世帯」全体では 28.2%、「母子世帯」のみでは 25.8%となっている。





(6) SNS等の話について

保護者票問 14

あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

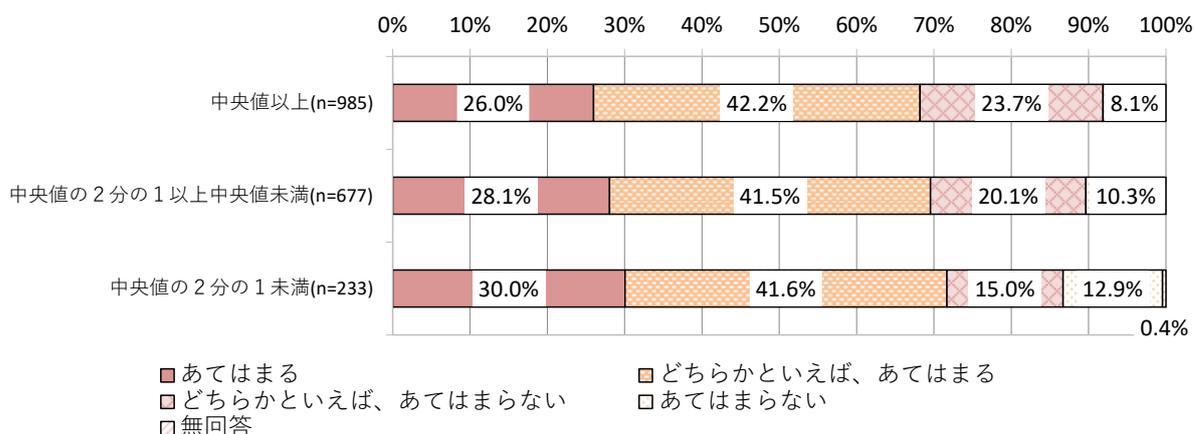
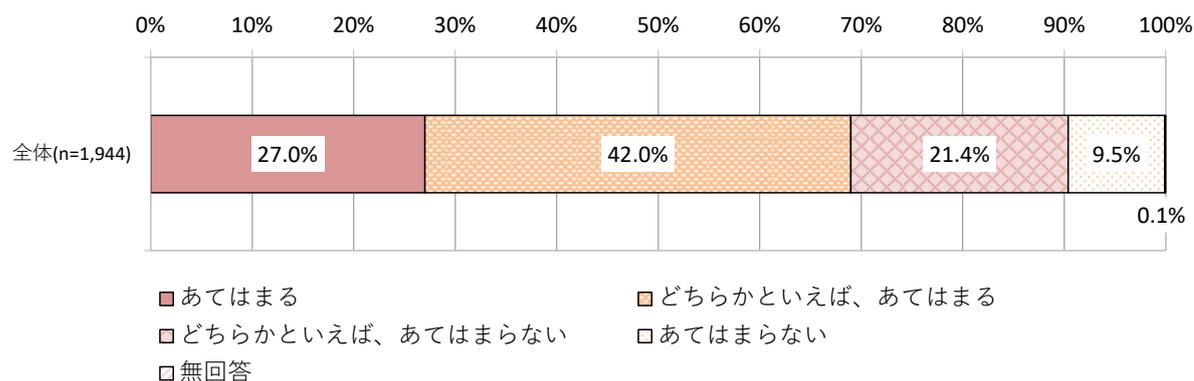
(SA)

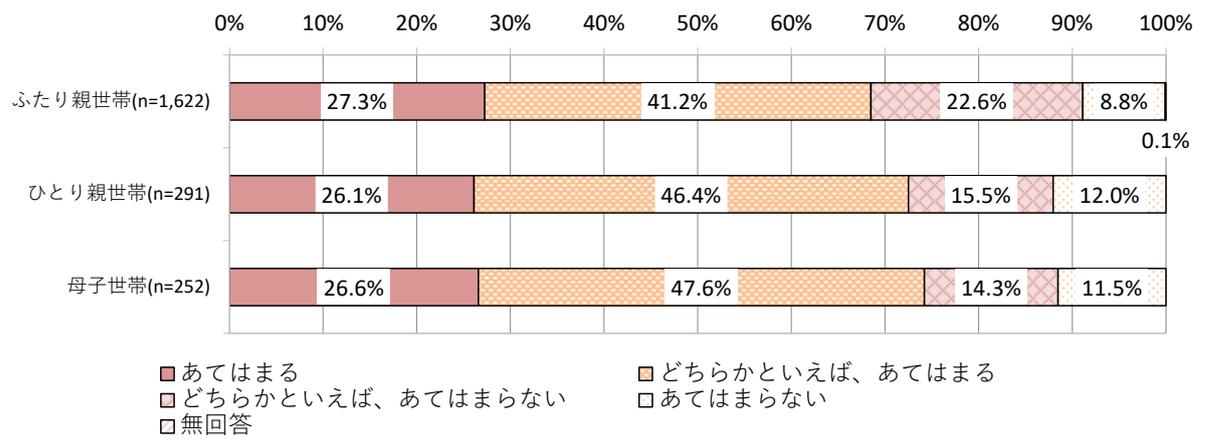
f. SNS等の話をする

SNS等の話をするかについて、「あてはまる」は27.0%、「どちらかといえば、あてはまる」は42.0%となっており、合わせた割合は69.0%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は21.4%、「あてはまらない」は9.5%となっており、合わせた割合は30.9%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では31.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では30.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では27.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では31.4%、「ひとり親世帯」全体では27.5%、「母子世帯」のみでは25.8%となっている。





(7) 子どもに夕食を作ってもらうことについて

保護者票問 14

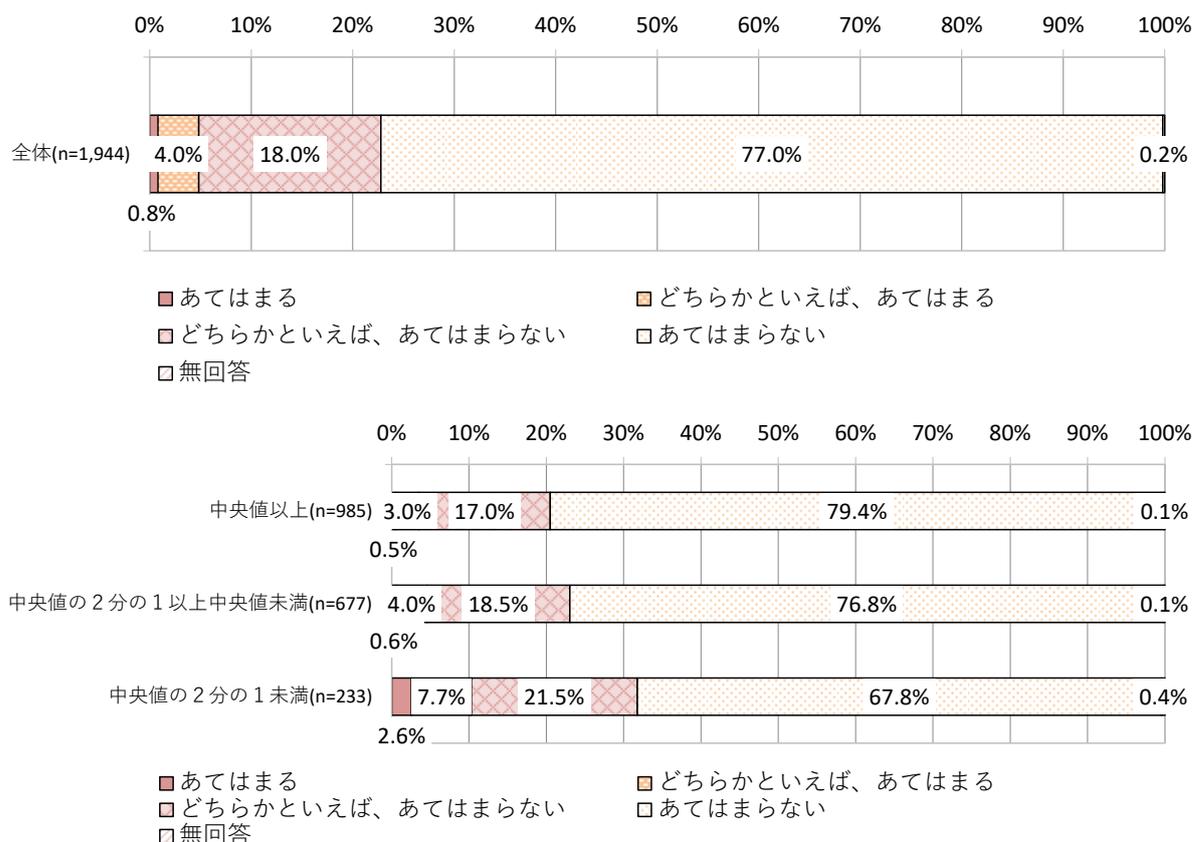
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

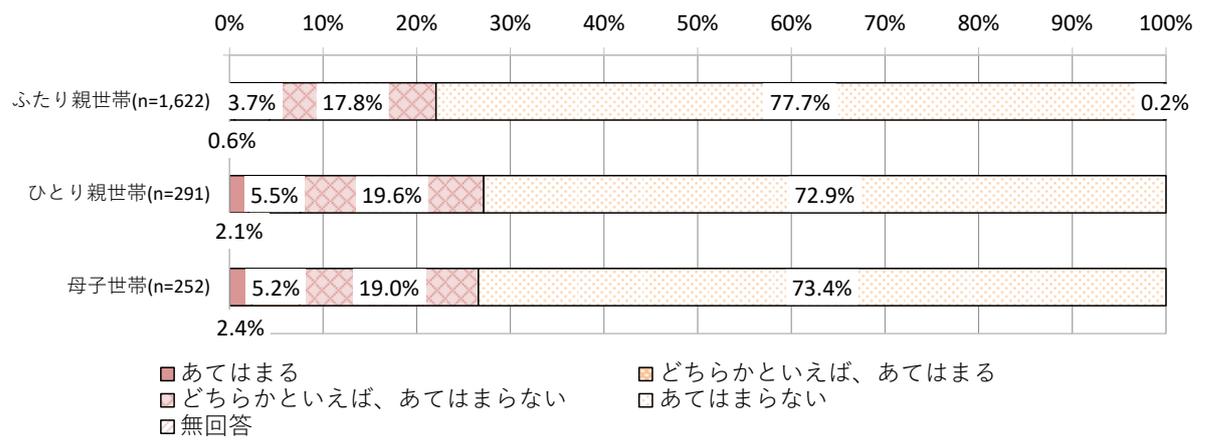
g. 夕食は子どもに作ってもらう

夕食は子どもに作ってもらうかについて、「あてはまる」は 0.8%、「どちらかといえば、あてはまる」は 4.0%となっており、合わせた割合は 4.8%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は 18.0%、「あてはまらない」は 77.0%となっており、合わせた割合は 95.0%となっている。

「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 3.6%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 4.6%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 10.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 4.3%、「ひとり親世帯」全体では 7.6%、「母子世帯」のみでは 7.5%となっている。





(8) 夕食を一緒に食べることについて

保護者票問 14

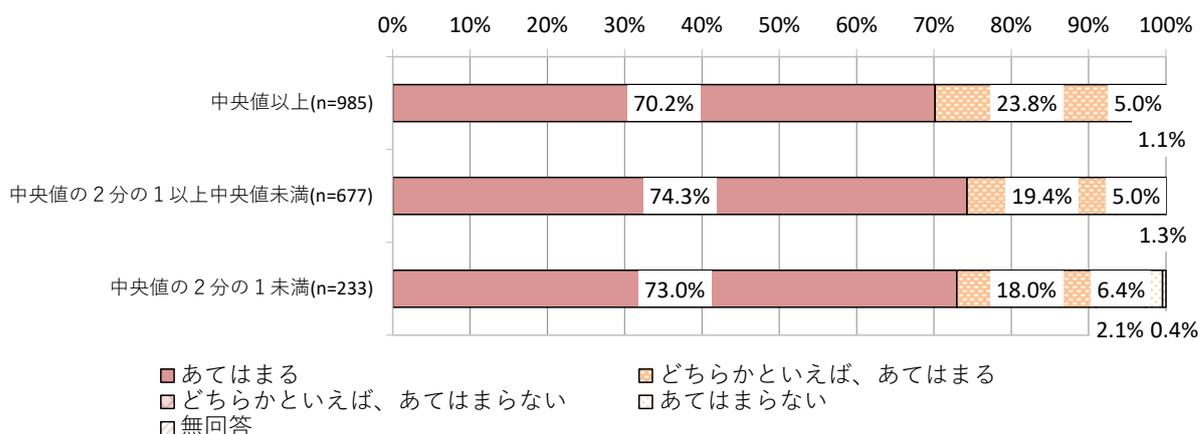
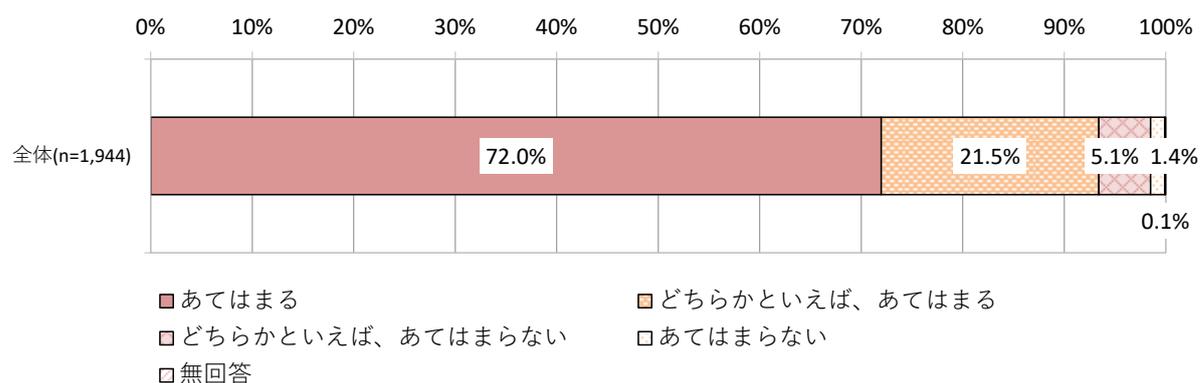
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

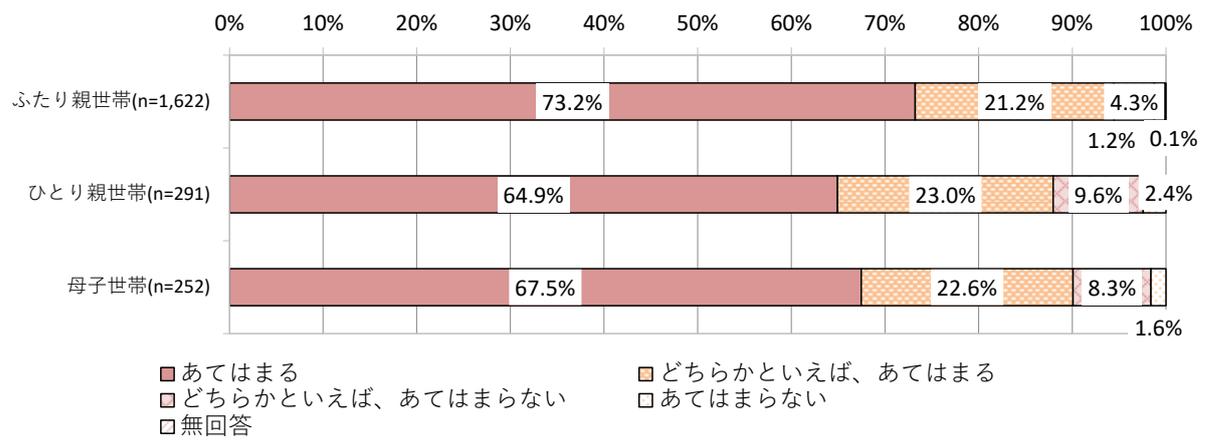
h. 夕食は一緒に食べる

夕食は一緒に食べるかについて、「あてはまる」は 72.0%、「どちらかといえば、あてはまる」は 21.5%となっており、合わせた割合は 93.4%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は 5.1%、「あてはまらない」は 1.4%となっており、合わせた割合は 6.6%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 6.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 6.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 8.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 5.5%、「ひとり親世帯」全体では 12.0%、「母子世帯」のみでは 9.9%となっている。





2.1.5. 学校等との関わり・参加

(1) 学校行事への参加

保護者票問 15

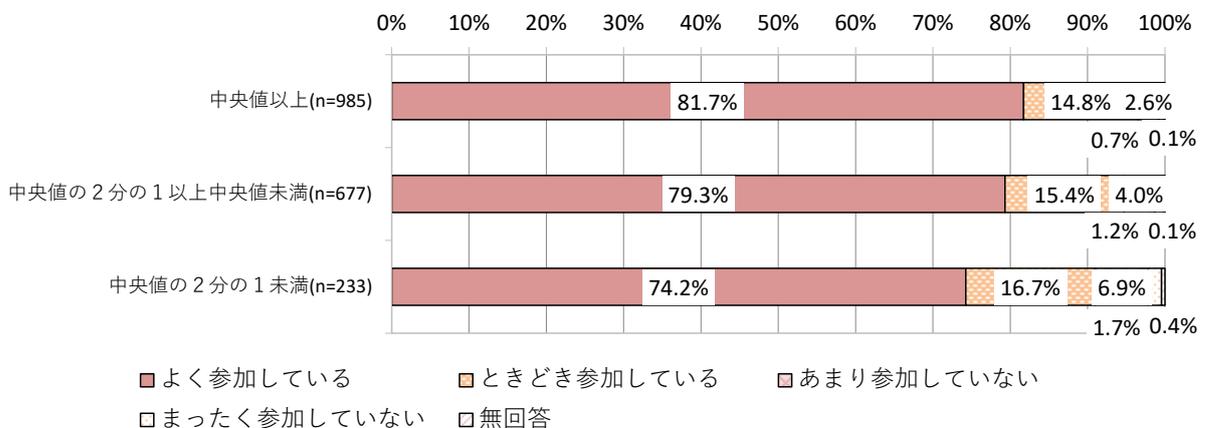
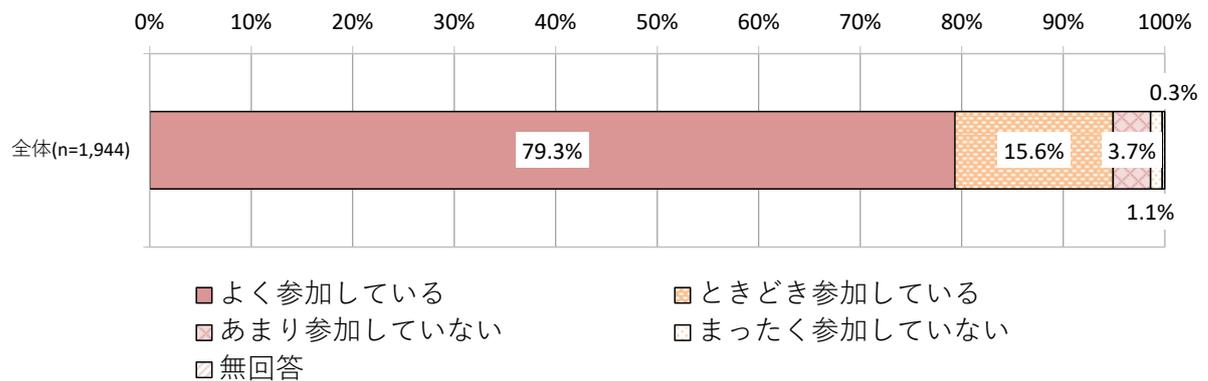
あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(SA)

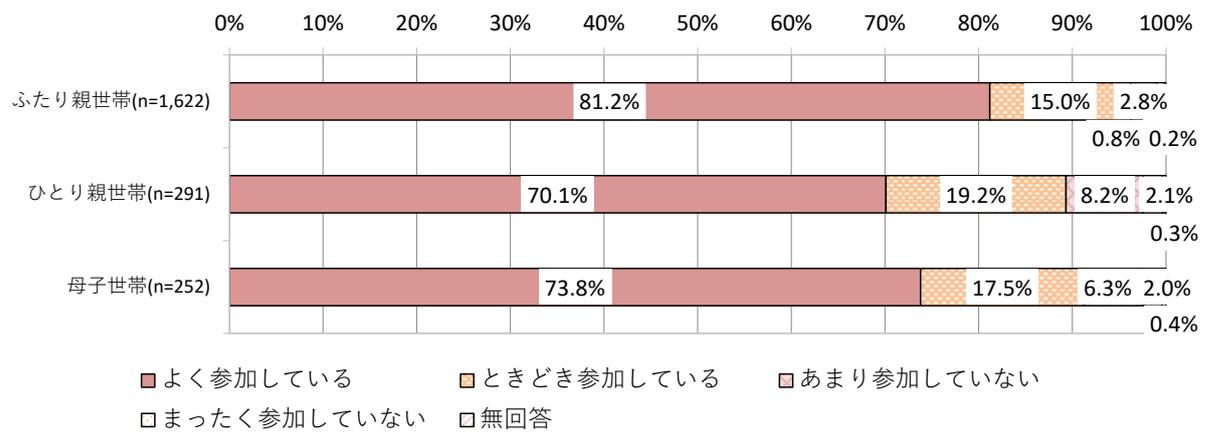
a. 授業参観や運動会などの学校行事への参加

授業参観や運動会などの学校行事について、「よく参加している」は 79.3%、「ときどき参加している」は 15.6%となっており、合わせた割合は 94.9%となっている。他方で、「あまり参加していない」は 3.7%、「まったく参加していない」は 1.1%となっており、合わせた割合 4.8%となっている。

「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 96.5%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 94.7%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 91.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 96.2%、「ひとり親世帯」全体では 89.3%、「母子世帯」のみでは 91.3%となっている。





(2) P T A活動等への参加

保護者票問 15

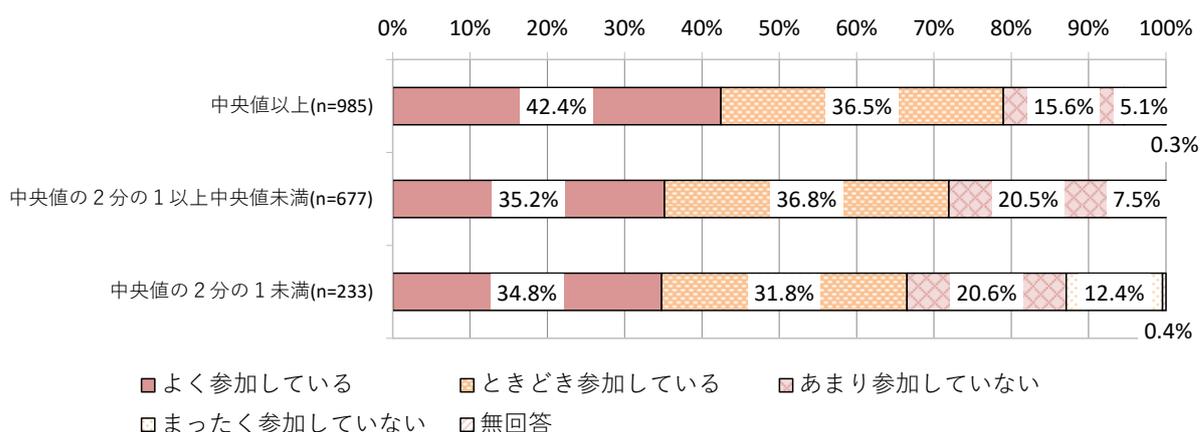
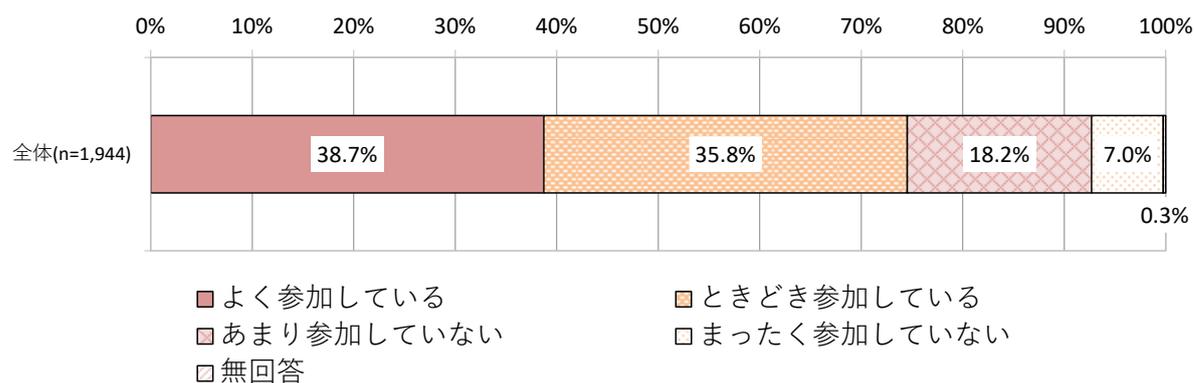
あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(SA)

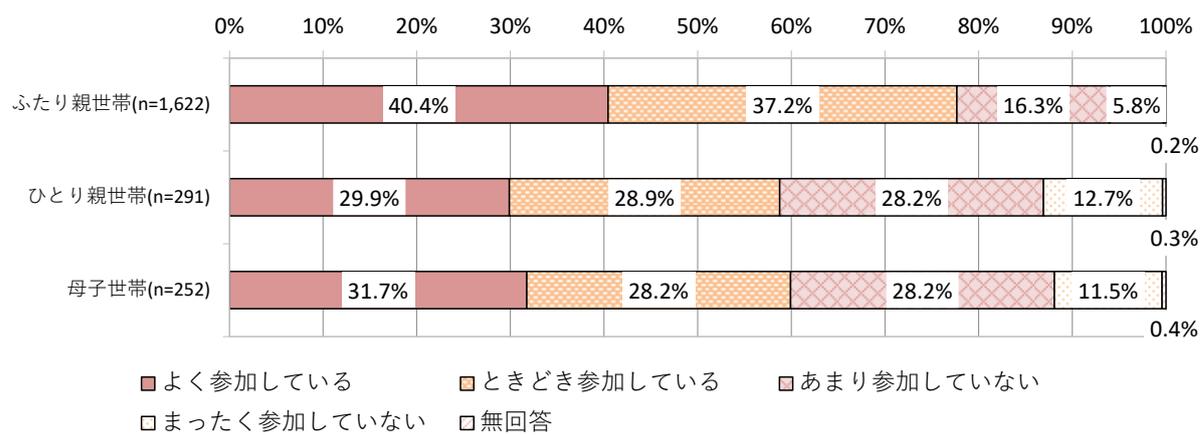
b. P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどについて、「よく参加している」は 38.7%、「ときどき参加している」は 35.8%となっており、合わせた割合は 74.5%となっている。他方で、「あまり参加していない」は18.2%、「まったく参加していない」は7.0%となっており、合わせた割合は 25.2%となっている。

「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 79.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では71.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では66.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では77.7%、「ひとり親世帯」全体では58.8%、「母子世帯」のみでは59.9%となっている。





(3) 部活や校外活動への参加

保護者票問 15

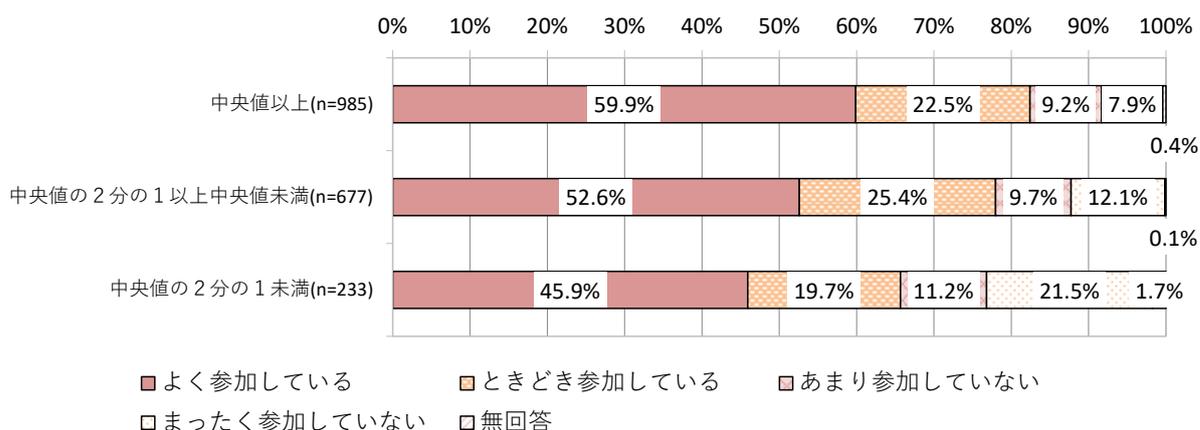
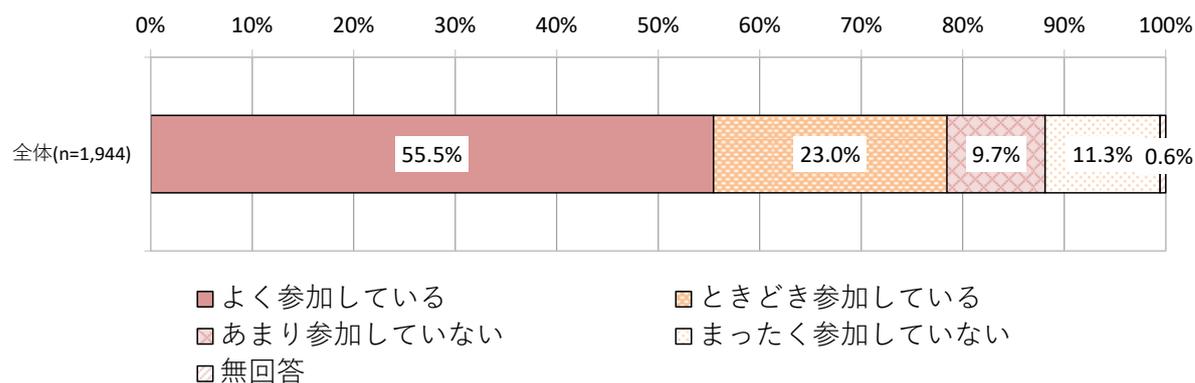
あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(SA)

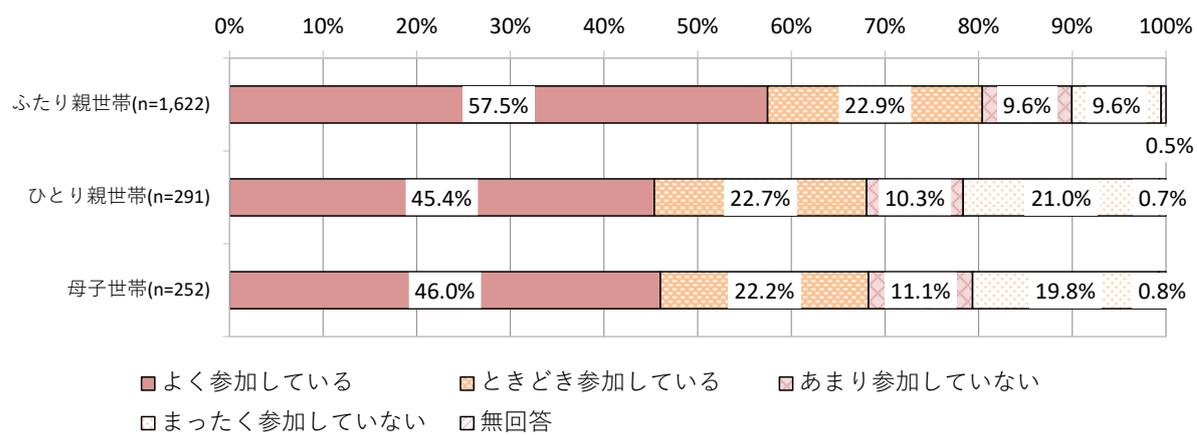
c. 部活や校外活動への参加

部活や校外活動について、「よく参加している」は 55.5%、「ときどき参加している」は 23.0%となっており、合わせた割合は 78.4%となっている。他方で、「あまり参加していない」は 9.7%、「まったく参加していない」は 11.3%となっており、合わせた割合は 21.0%となっている。

「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 82.4%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 78.0%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 65.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 80.4%、「ひとり親世帯」全体では 68.0%、「母子世帯」のみでは 68.3%となっている。





2.1.6. 進学期待・展望

(1) 子どもの進学段階に関する希望・展望

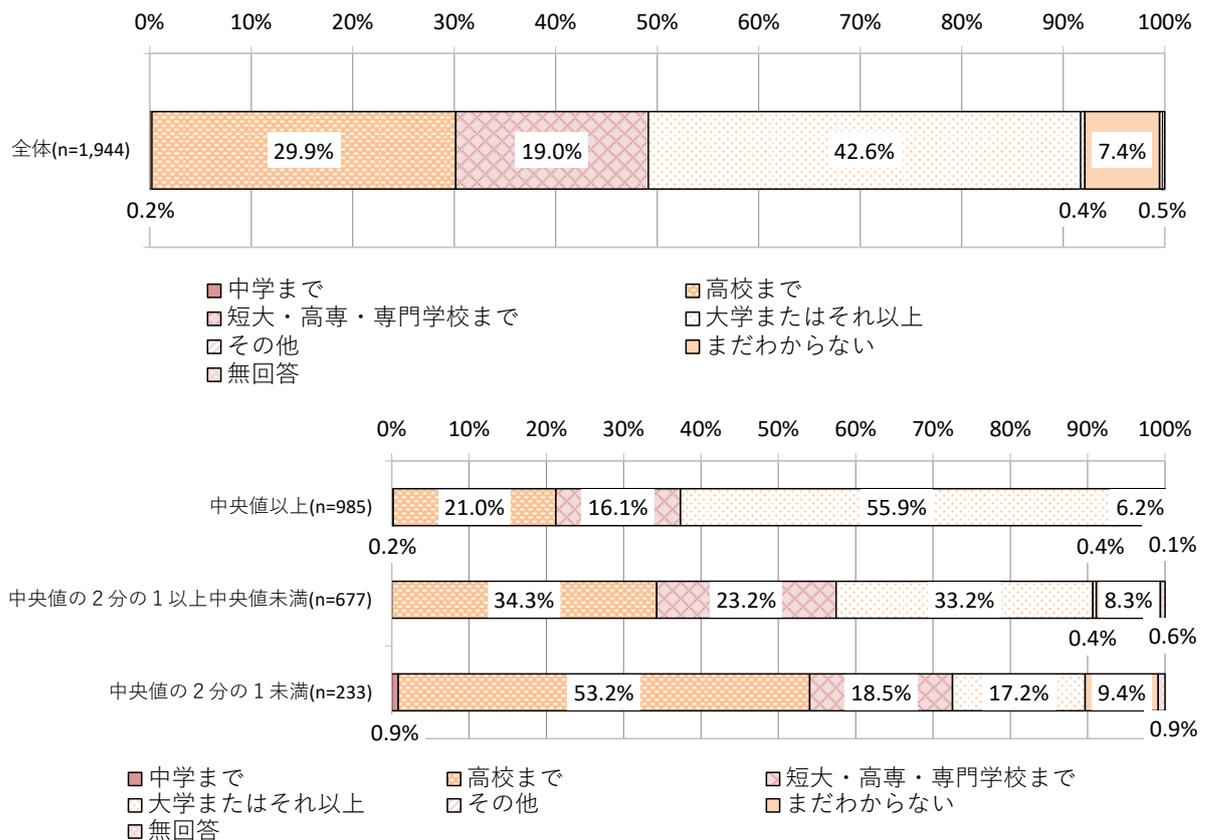
保護者票問 16

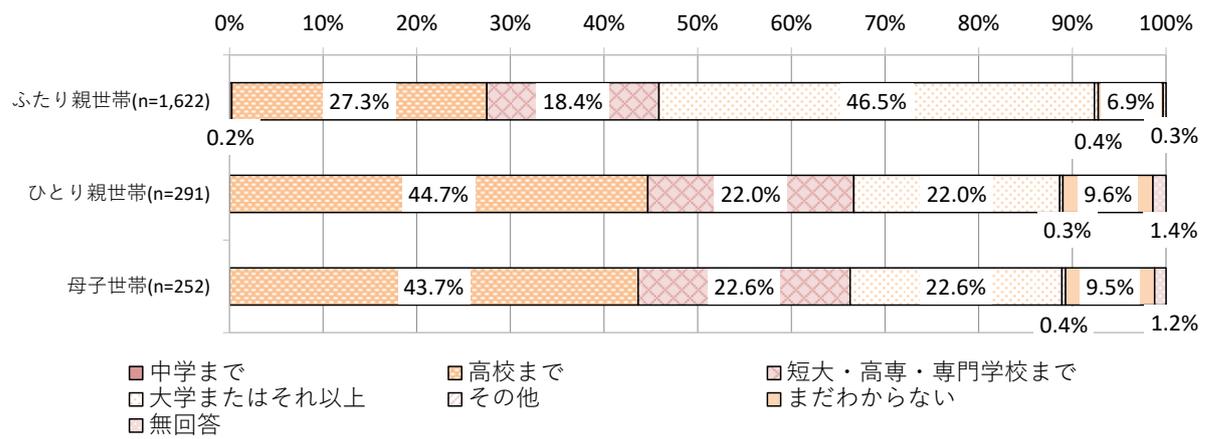
お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(SA)

子どもが将来どの段階まで進学すると思うかについては、「大学またはそれ以上」が 42.6%、「高校まで」が 29.9%、「短大・高専・専門学校まで」が 19.0%、「まだわからない」が 7.4%、「その他」が 0.4%、「中学まで」が 0.2%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「大学またはそれ以上」の回答割合は、「中央値以上」の世帯では 55.9%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 33.2%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 17.2%となっている。「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、「高校まで」の回答割合が 53.2%で、他の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「大学またはそれ以上」の回答割合は、「ふたり親世帯」では 46.5%、「ひとり親世帯」全体では 22.0%、「母子世帯」のみでは 22.6%となっている。「ひとり親世帯」では、「高校まで」の回答割合が 44.7%で、「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。





(2) 進学段階に関する展望についてそう考える理由

保護者票問 17

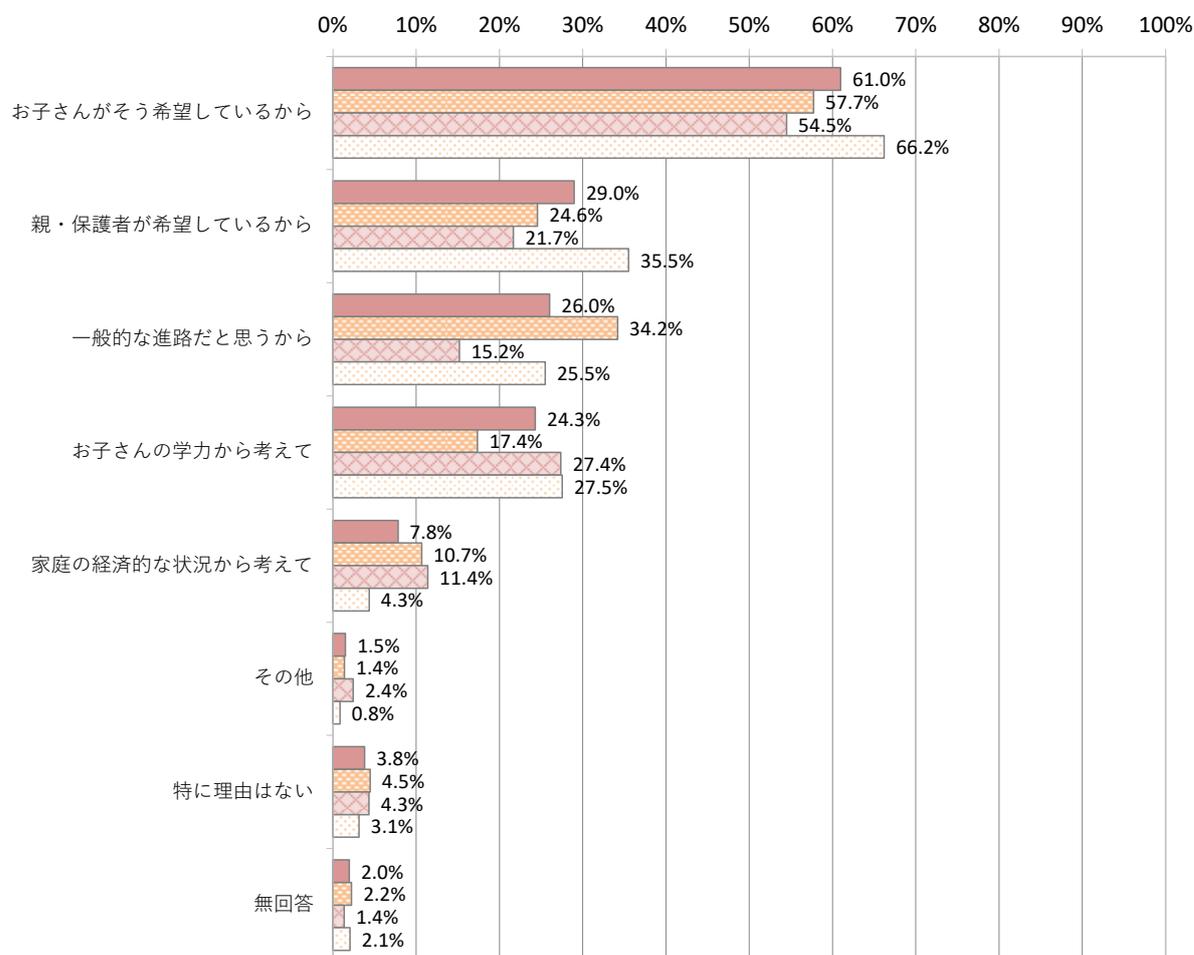
子どもの進学段階に関する希望・展望の問でそう答えた理由は何ですか。(MA)

子どもの進学段階に関する希望・展望について保護者がそう考える理由としては、「お子さんがそう希望しているから」が61.0%、「親・保護者が希望しているから」が29.0%、「一般的な進路だと思うから」が26.0%となっている。

子どもの進学段階に関する希望・展望の回答別にみると、「高校まで」と回答した場合は、「一般的な進路だと思うから」が34.2%で、「短大・高専・専門学校まで」や「大学またはそれ以上」と回答した場合と比べて高くなっている。他方で、「お子さんの学力から考えて」の回答割合は低くなっている。

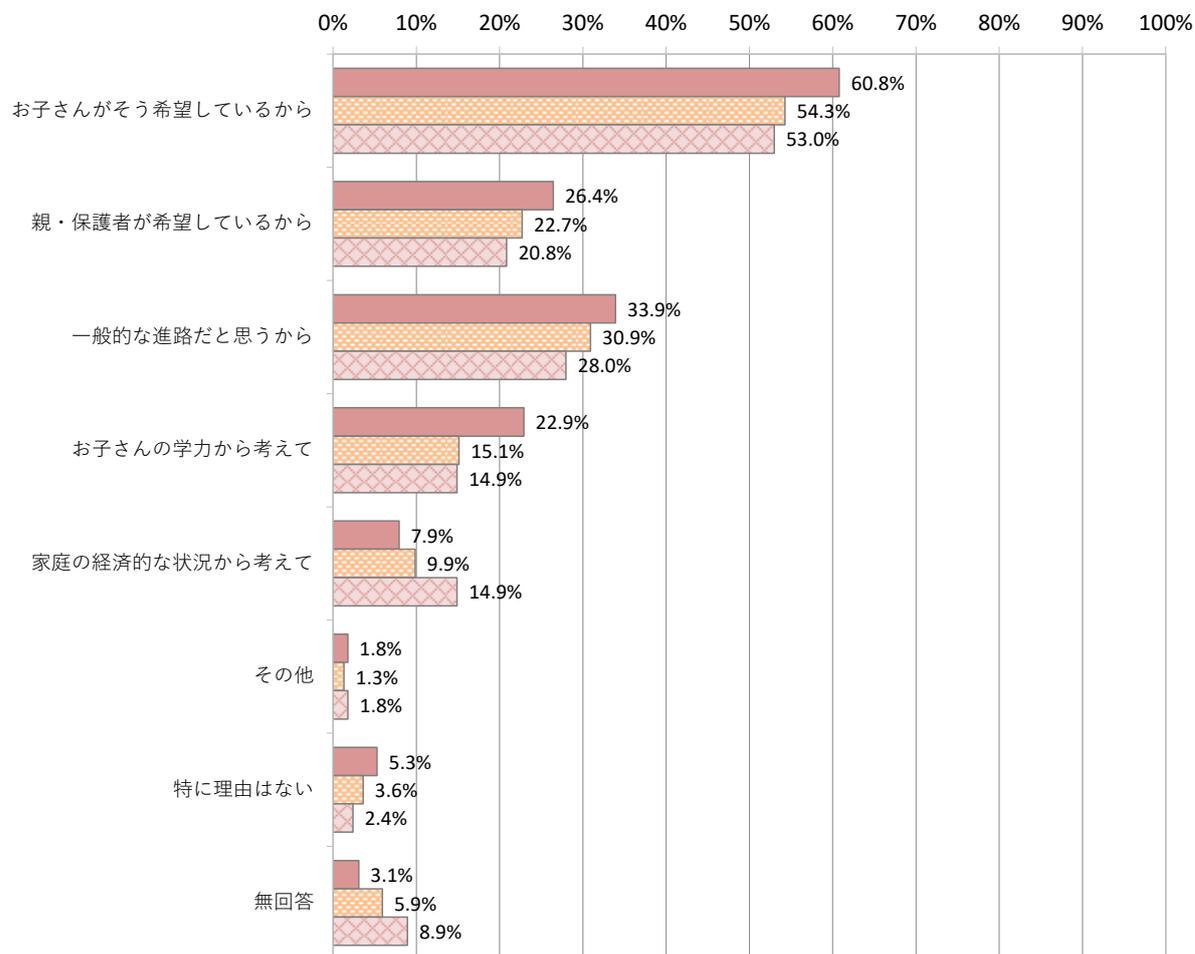
「高校まで」と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が他の世帯と比べて高くなっている。

また、「高校まで」と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

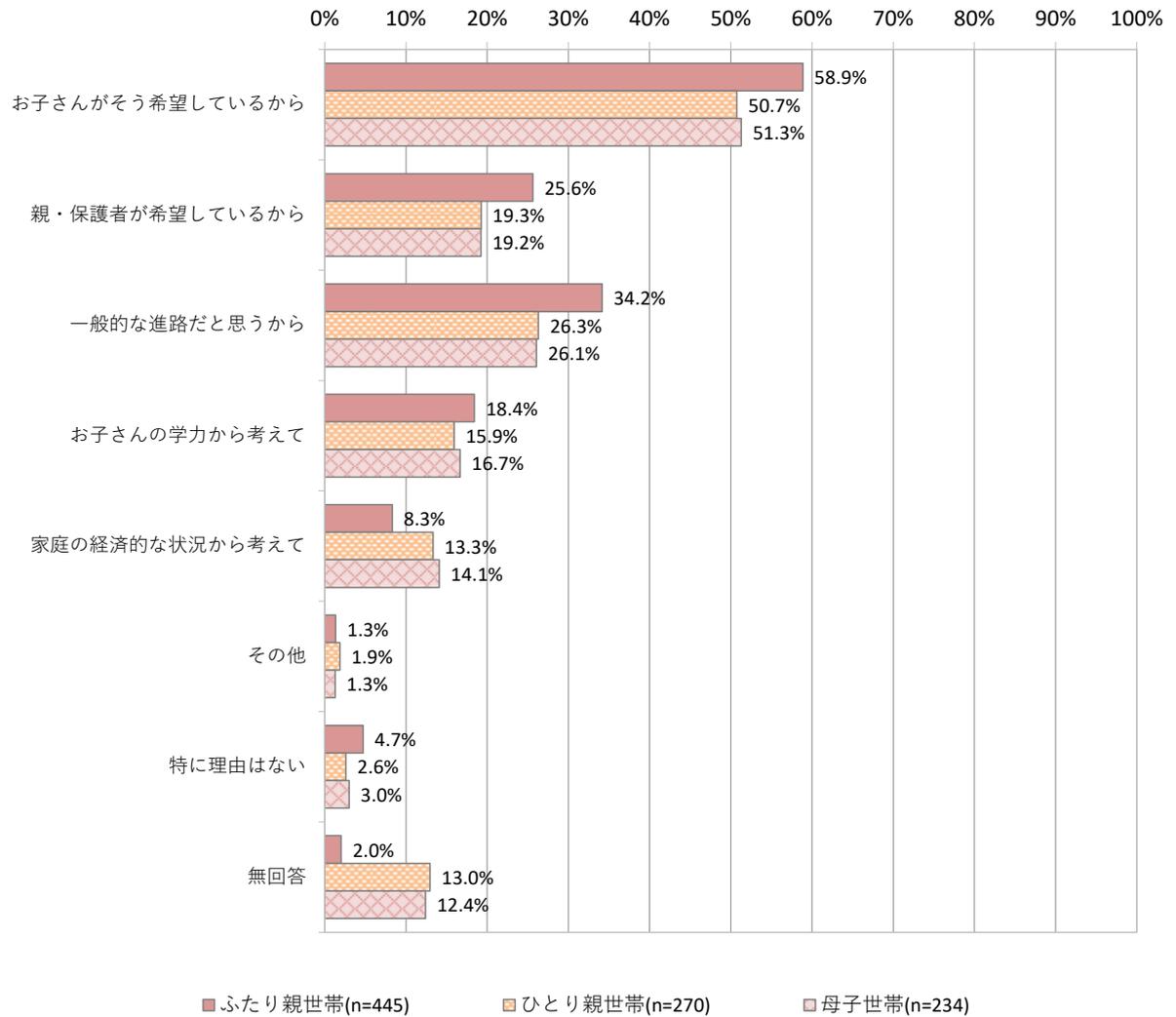


■全体(n=1,791) ■高校まで(n=582) ■短大・高専・専門学校まで(n=369) □大学またはそれ以上(n=828)

※高校までと考える理由



■ 中央値以上(n=227) ▨ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=304) ▩ 中央値の2分の1未満(n=168)



2.1.7. 頼れる人の有無・相手

(1) 子育てに関する相談

保護者票問 18

あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(SA)

また、「頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(MA)

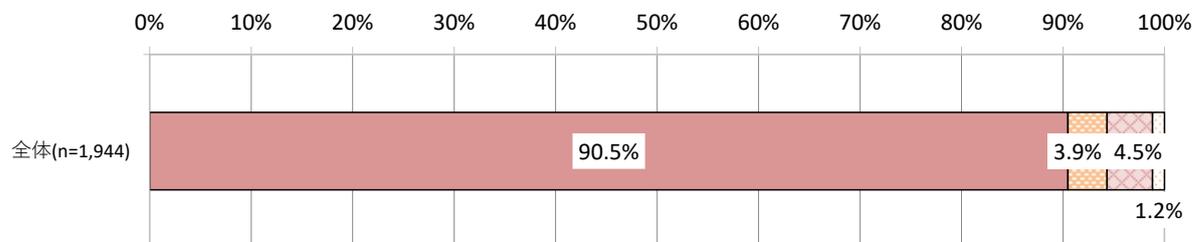
a. 子育てに関する相談

子育てに関する相談について、「頼れる人がいる」は 90.5%、「いない」は 3.9%、「そのことでは人に頼らない」は 4.5%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」が 90.7%、「友人・知人」が 54.6%、「職場の人」が 30.1%となっている。

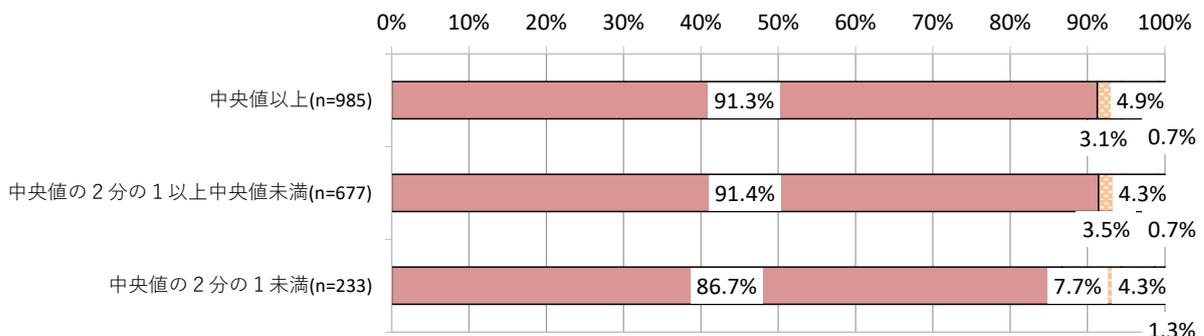
等価世帯収入の水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では 3.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 3.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 7.7%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、「家族・親族」の割合が 85.6%、「職場の人」の割合が 23.3%で、それぞれ他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では 3.3%、「ひとり親世帯」全体では 6.5%、「母子世帯」のみでは 5.6%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「ひとり親世帯」では「家族・親族」の割合が 84.6%と「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。

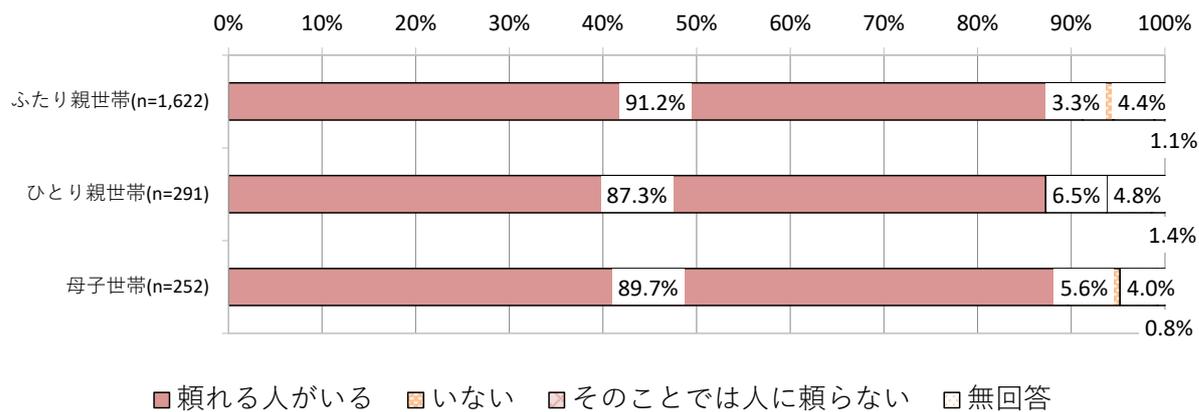
※頼れる人の有無



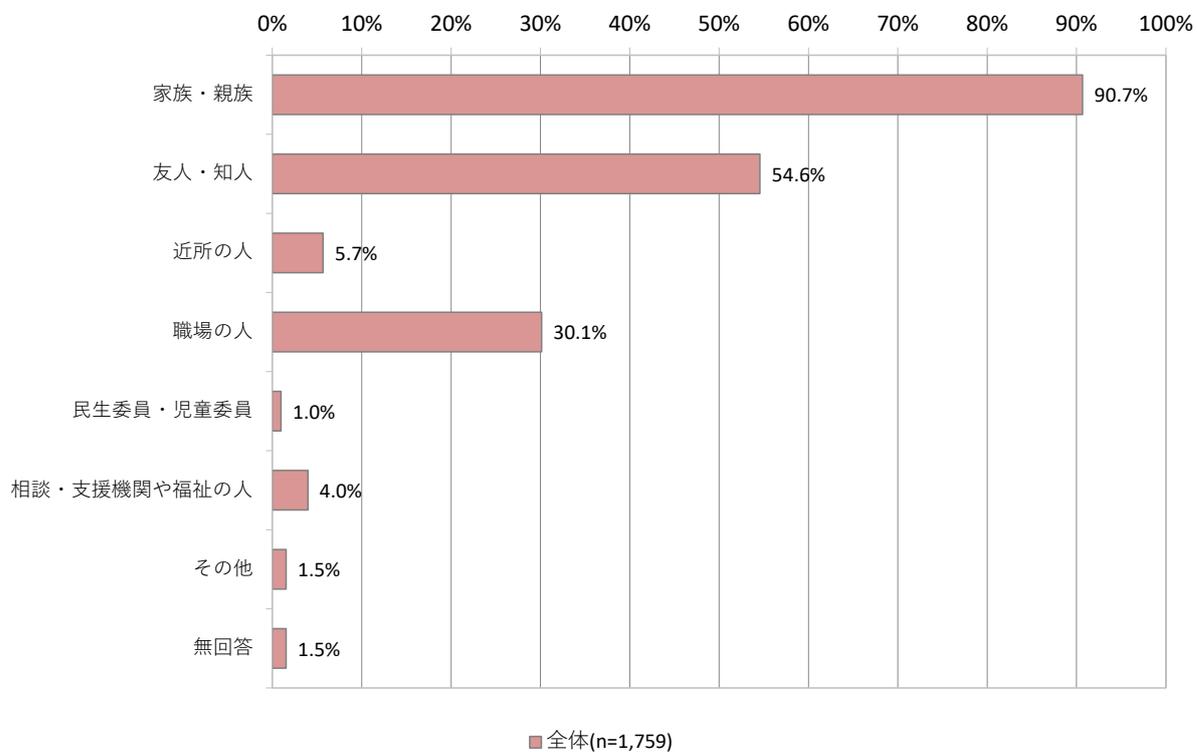
■ 頼れる人がいる ■ いない ■ そのことでは人に頼らない □ 無回答

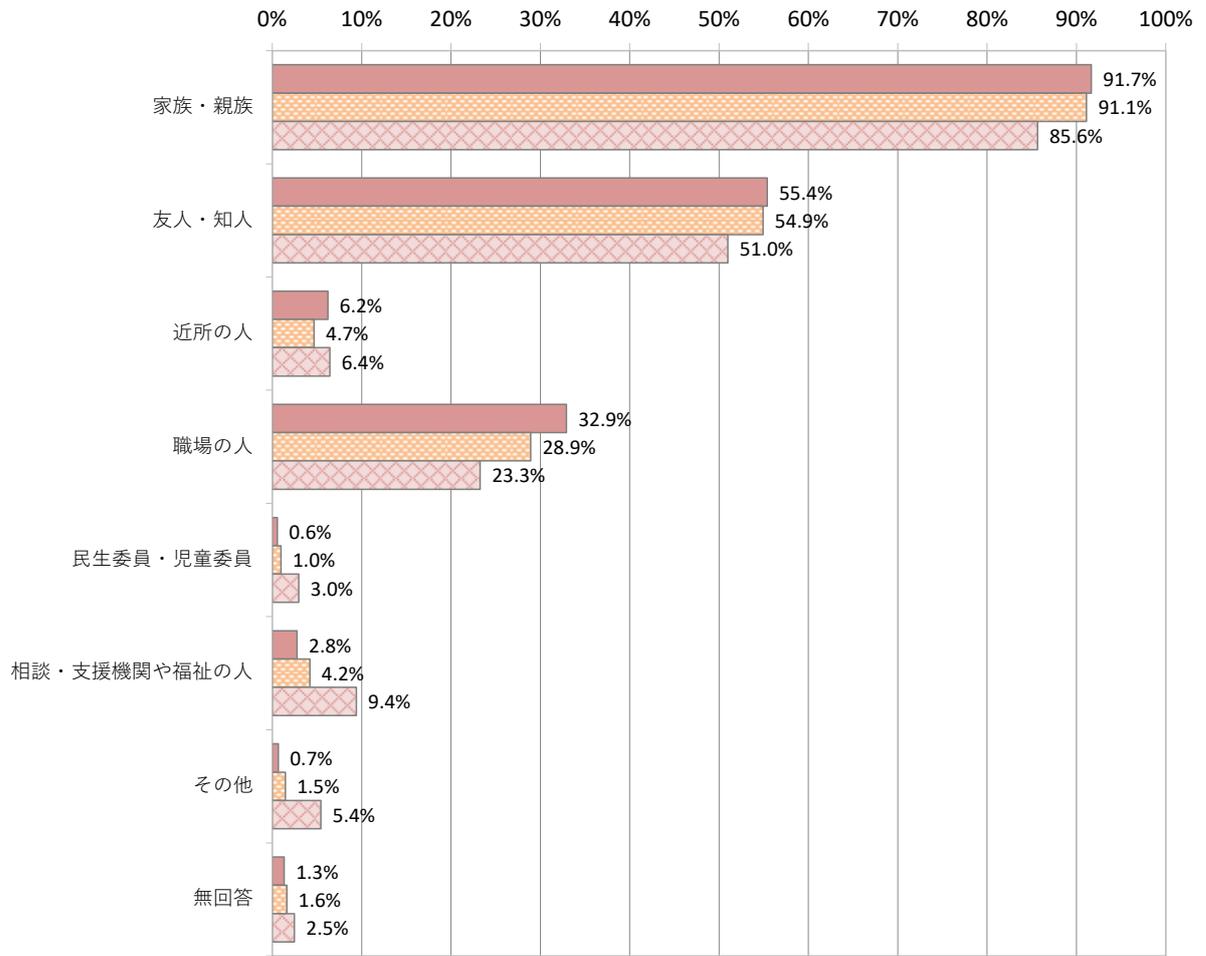


■ 頼れる人がいる ■ いない ■ そのことでは人に頼らない □ 無回答

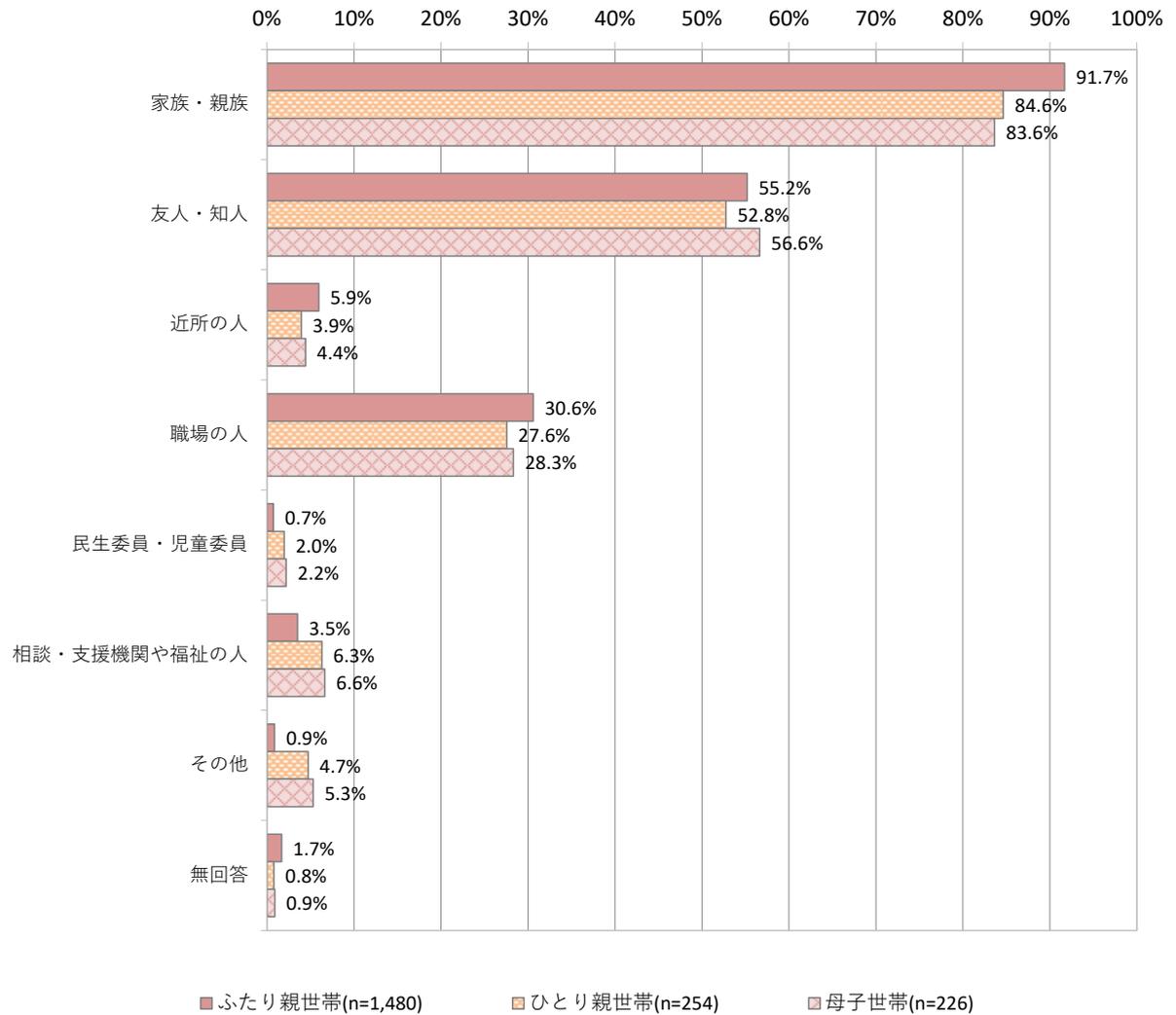


※相談相手





■ 中央値以上(n=899) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=619) ■ 中央値の2分の1未満(n=202)



(2) 重要な事柄の相談

保護者票問 18

あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(SA)

また、「頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(MA)

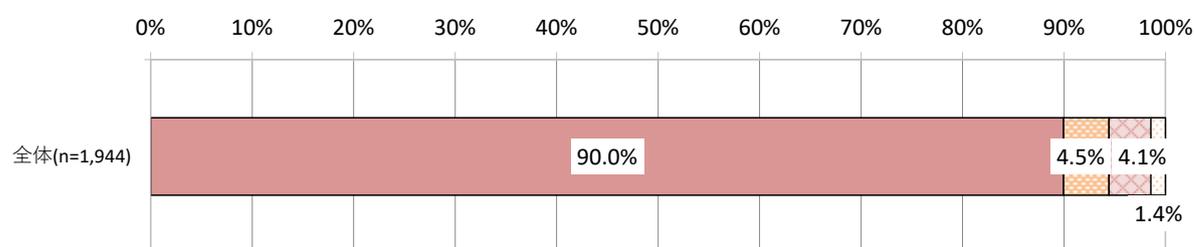
b. 重要な事柄の相談

重要な事柄の相談について、「頼れる人がいる」は 90.0%、「いない」は 4.5%、「そのことでは人に頼らない」は 4.1%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」が 93.8%、「友人・知人」が 29.6%となっている。

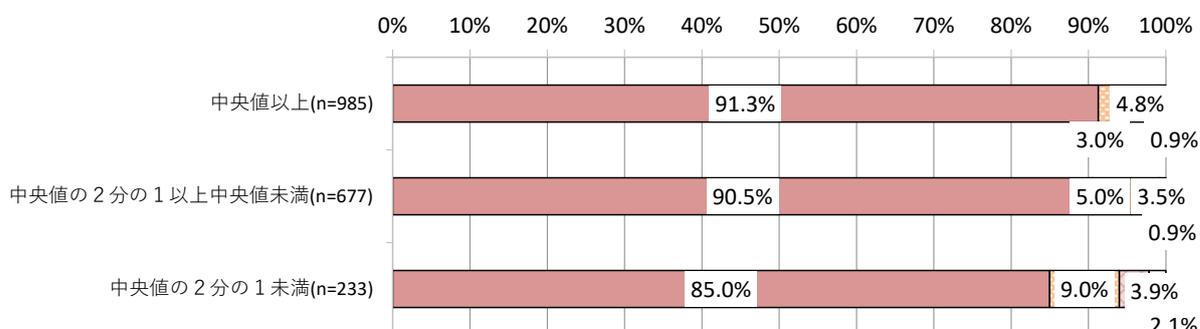
等価世帯収入の水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では 3.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 5.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 9.0%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、「家族・親族」の割合が 87.9%と他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では 3.5%、「ひとり親世帯」全体では 9.6%、「母子世帯」のみでは 9.5%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「ひとり親世帯」では「家族・親族」の割合が 88.2%と「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。他方で、「友人・知人」の回答割合は高くなっている。

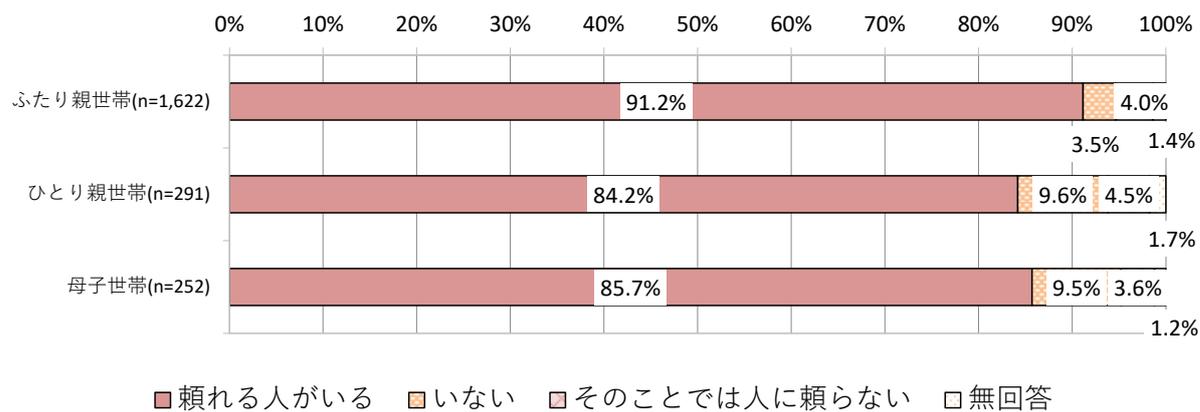
※頼れる人の有無



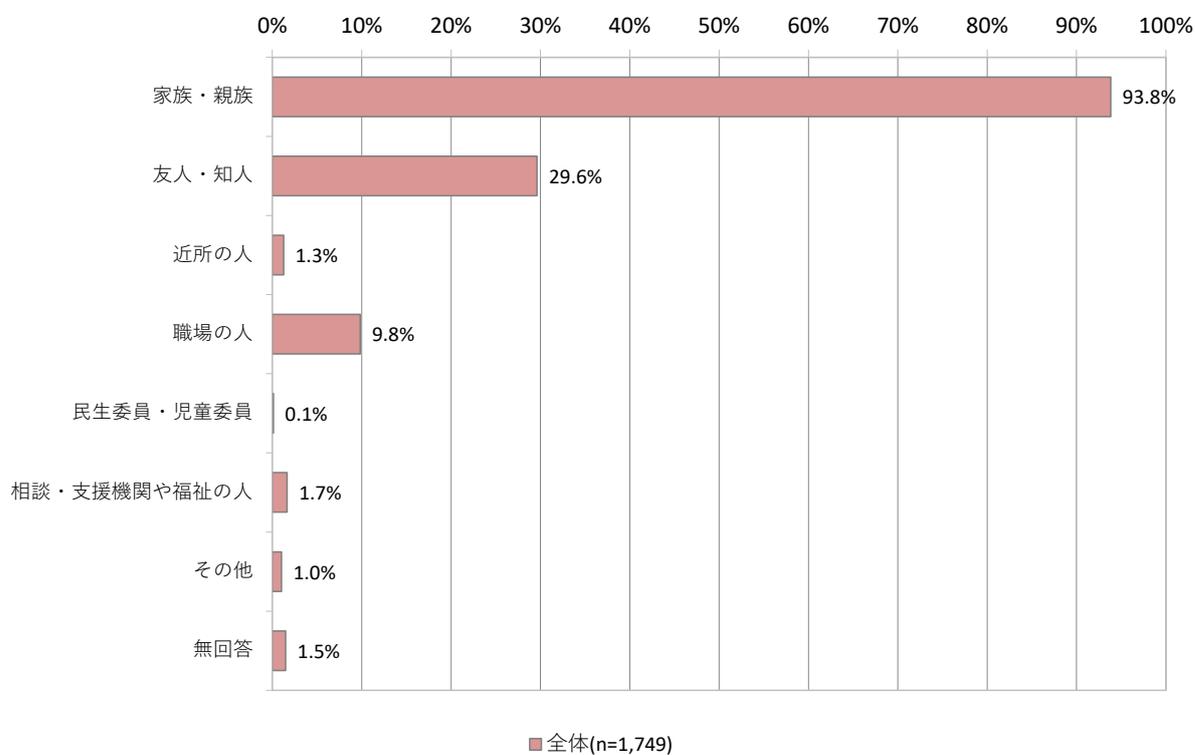
■ 頼れる人がいる ■ いない ■ そのことでは人に頼らない □ 無回答

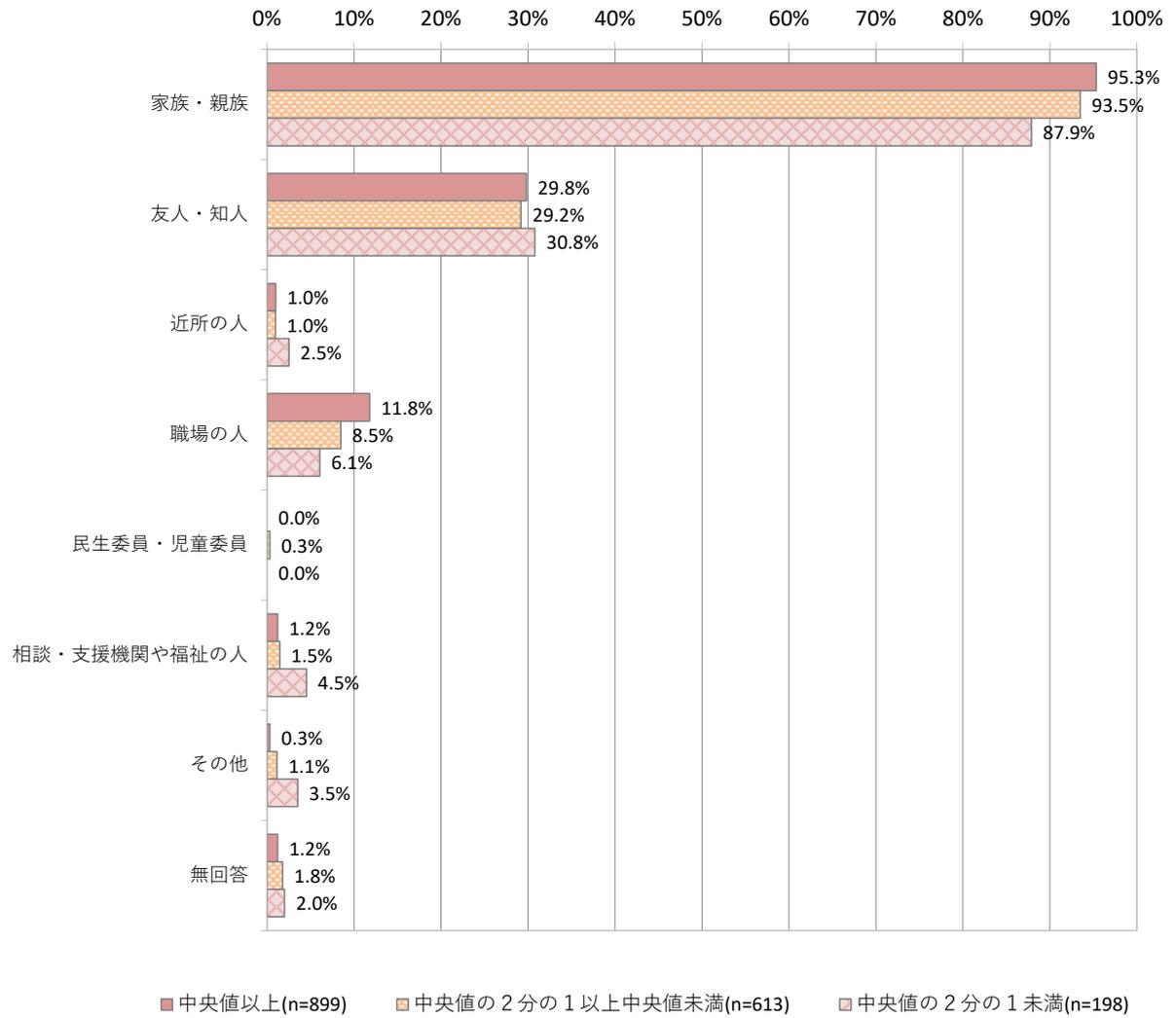


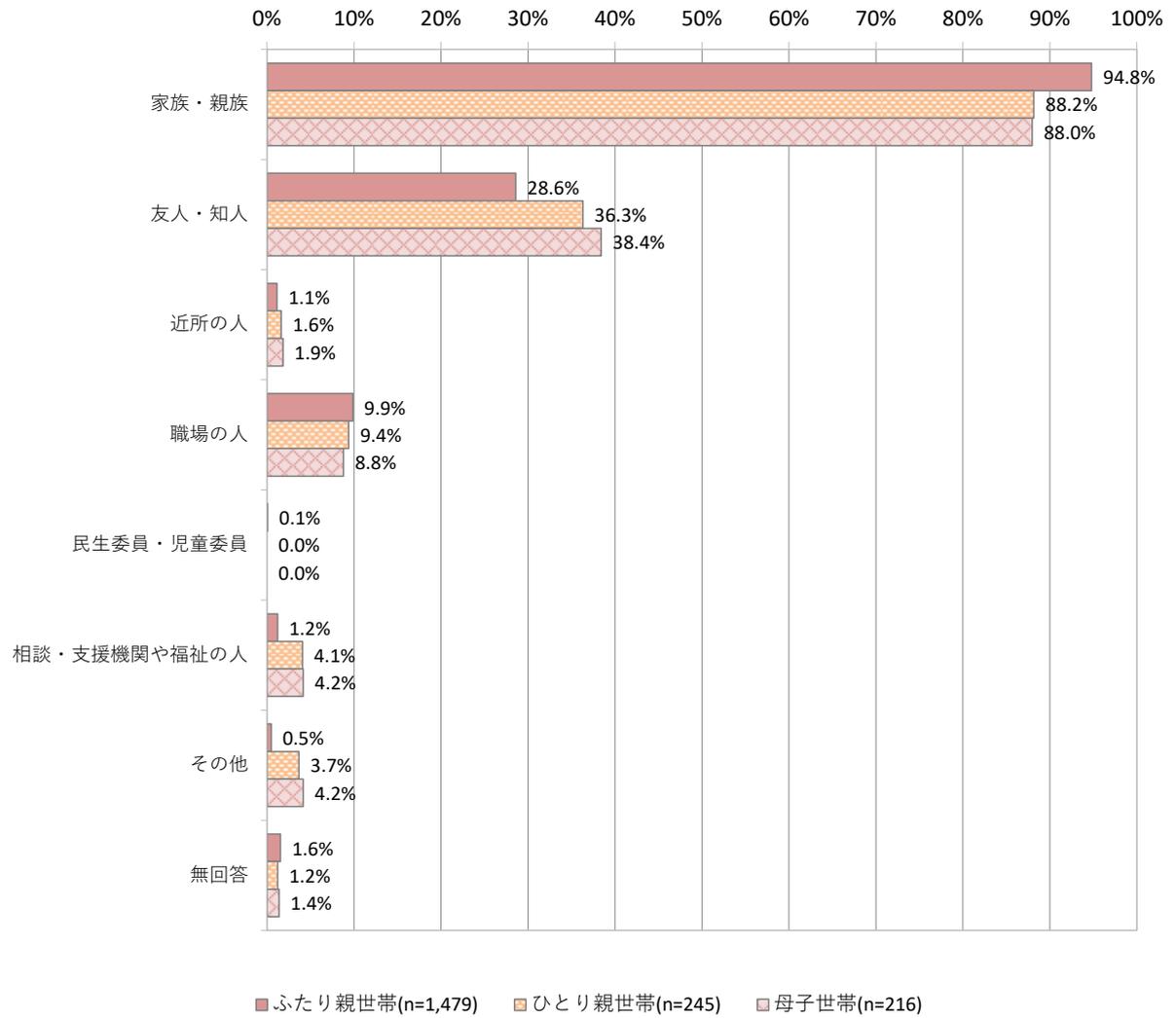
■ 頼れる人がいる ■ いない ■ そのことでは人に頼らない □ 無回答



※相談相手







(3) いざという時のお金の援助

保護者票問 18

あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(SA)

また、「頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(MA)

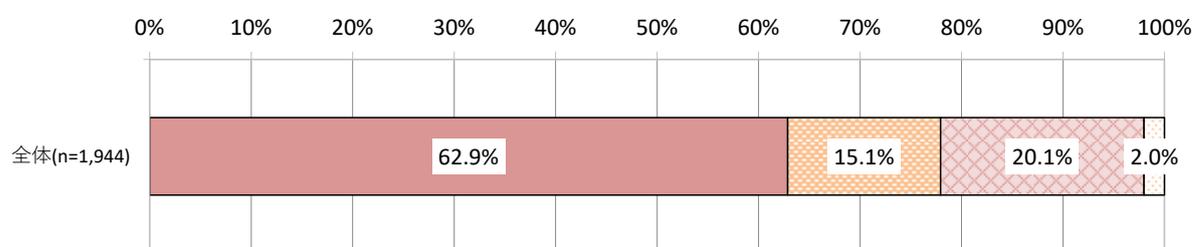
c. いざという時のお金の援助

いざという時のお金の援助について、「頼れる人がいる」は62.9%、「いない」は15.1%、「そのことでは人に頼らない」は20.1%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」が97.0%となっている。

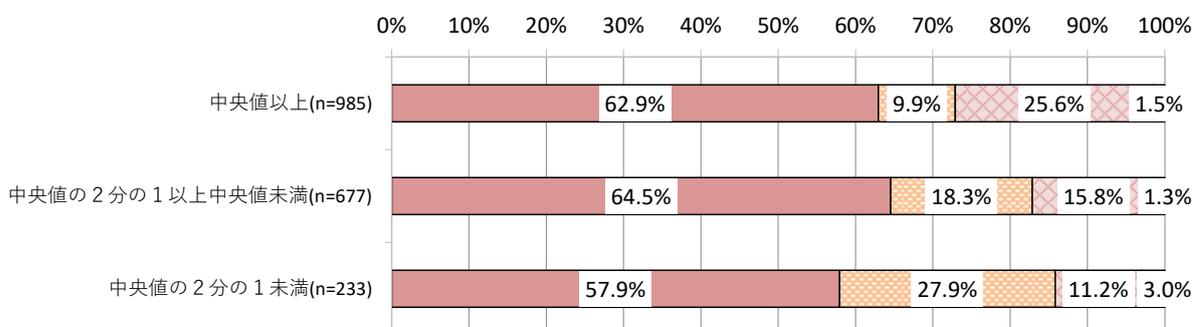
等価世帯収入の水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では9.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では18.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では27.9%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、「友人・知人」の割合が8.1%、「相談・支援機関や福祉の人」が4.4%で、それぞれ他の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では12.5%、「ひとり親世帯」全体では28.2%、「母子世帯」のみでは28.6%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「ひとり親世帯」では、「友人・知人」の割合が8.2%、「相談・支援機関や福祉の人」が3.1%で、それぞれ「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

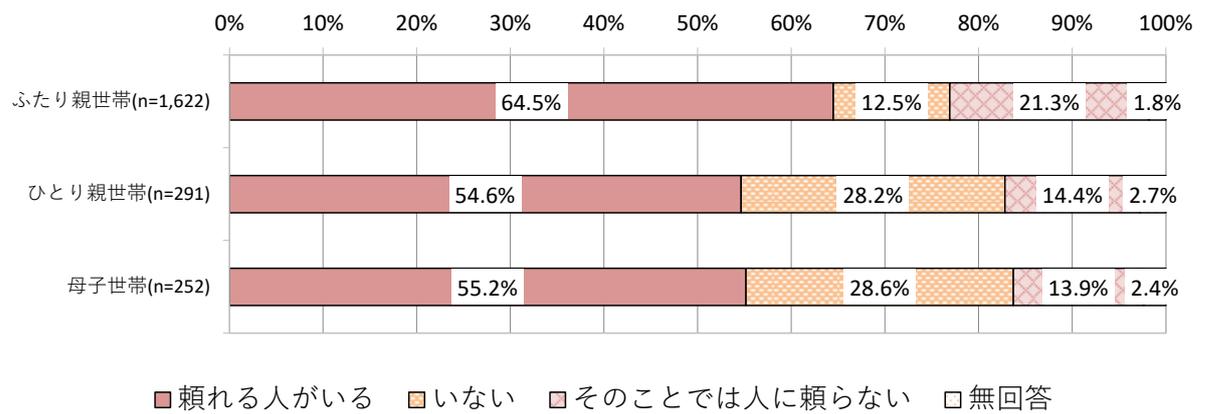
※頼れる人の有無



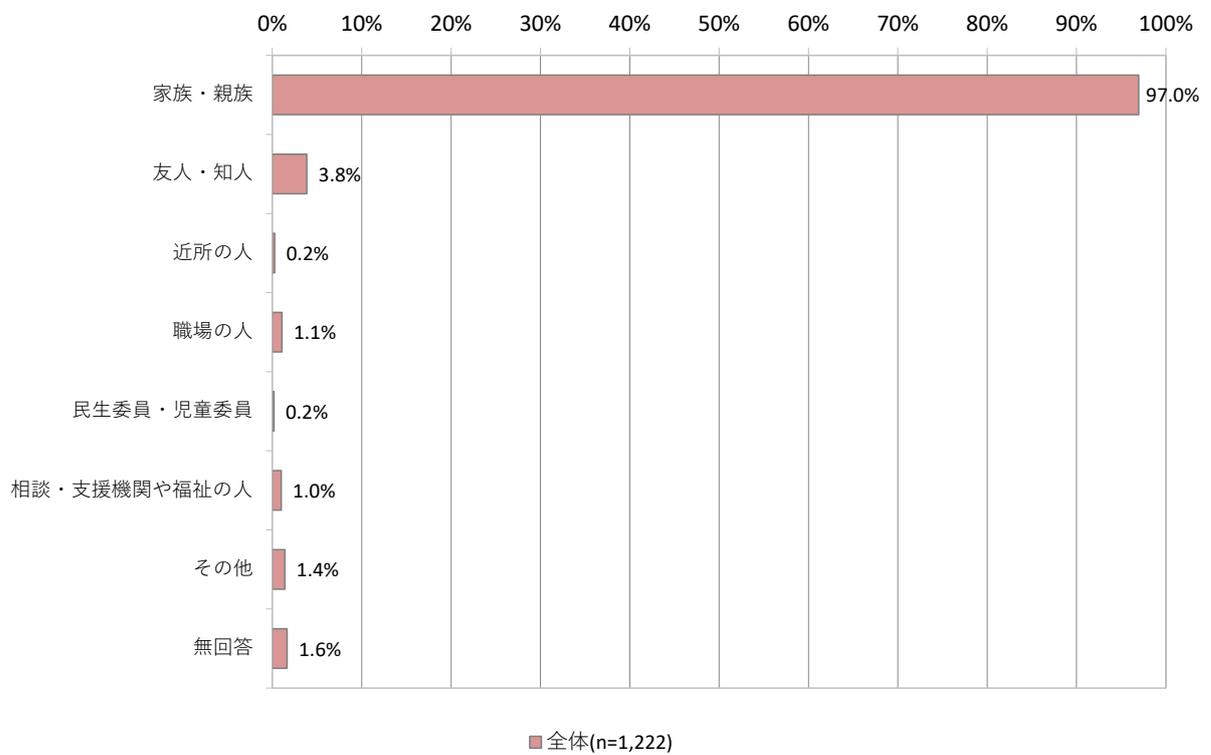
■ 頼れる人がいる ■ いない ■ そのことでは人に頼らない □ 無回答

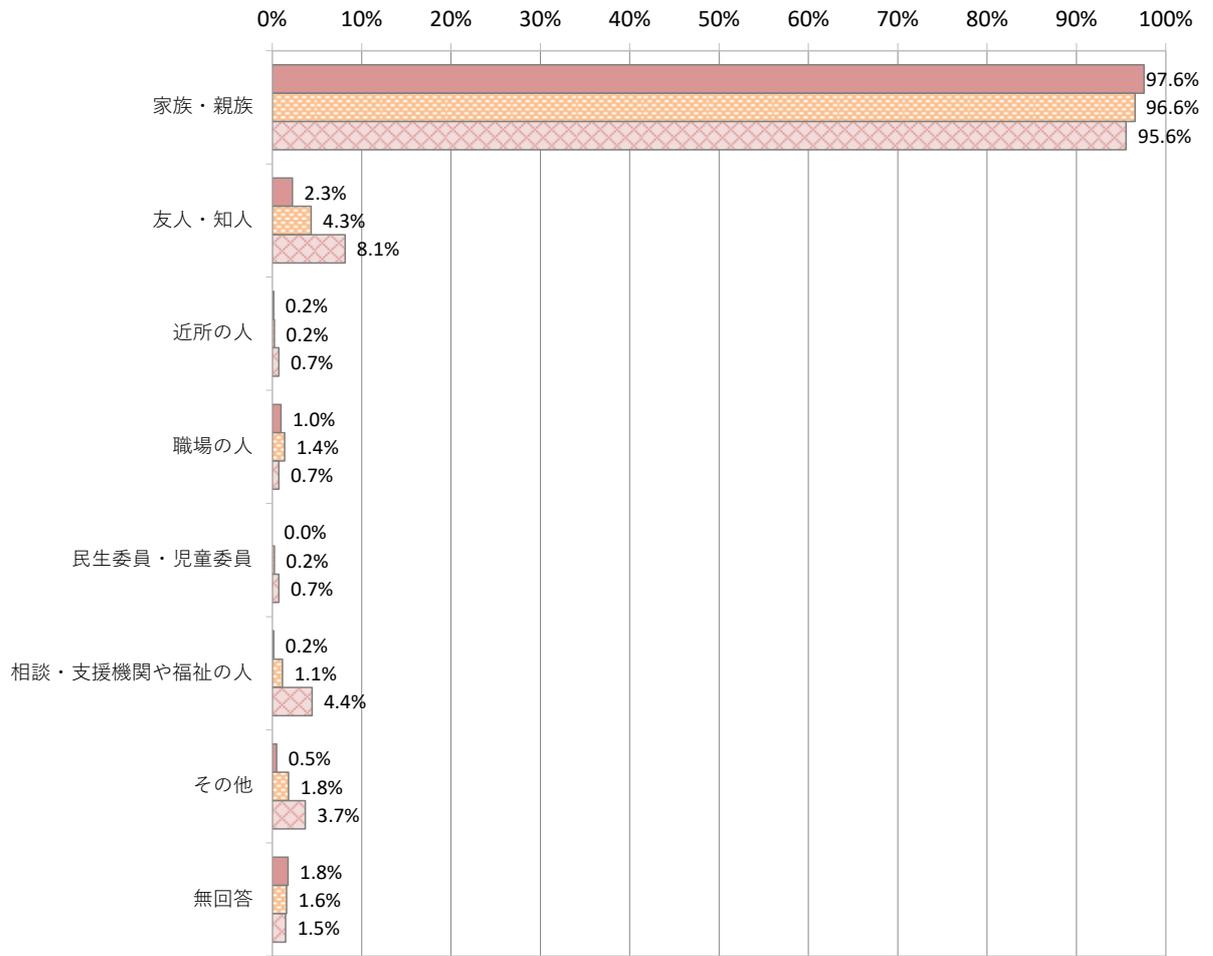


■ 頼れる人がいる ■ いない ■ そのことでは人に頼らない □ 無回答

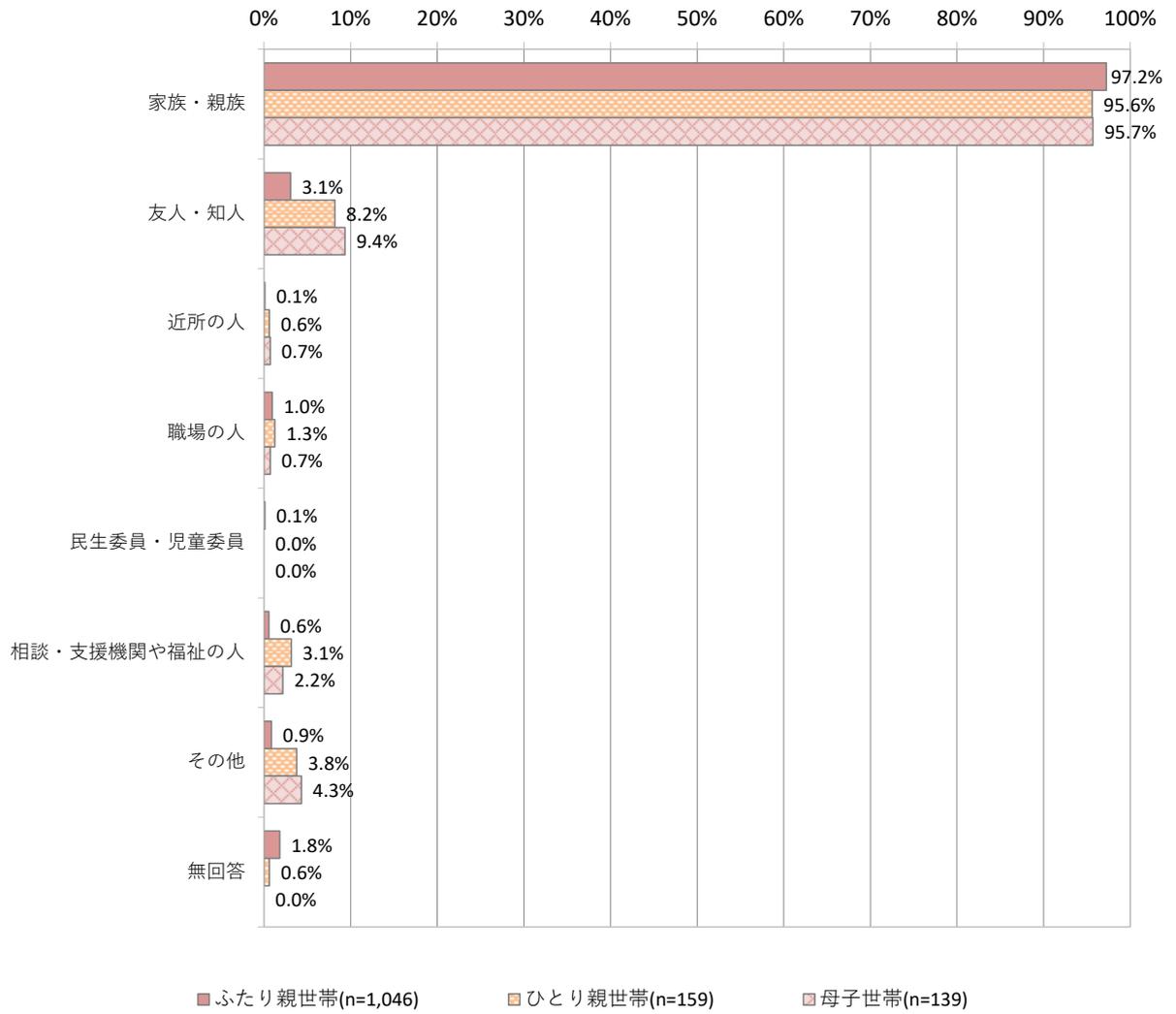


※相談相手





■ 中央値以上(n=620) ▨ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=437) ▩ 中央値の2分の1未満(n=135)



2.1.8. 日常的な生活の状況

(1) 保護者の心理的な状態

保護者票問 24

次の項目について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。(SA)

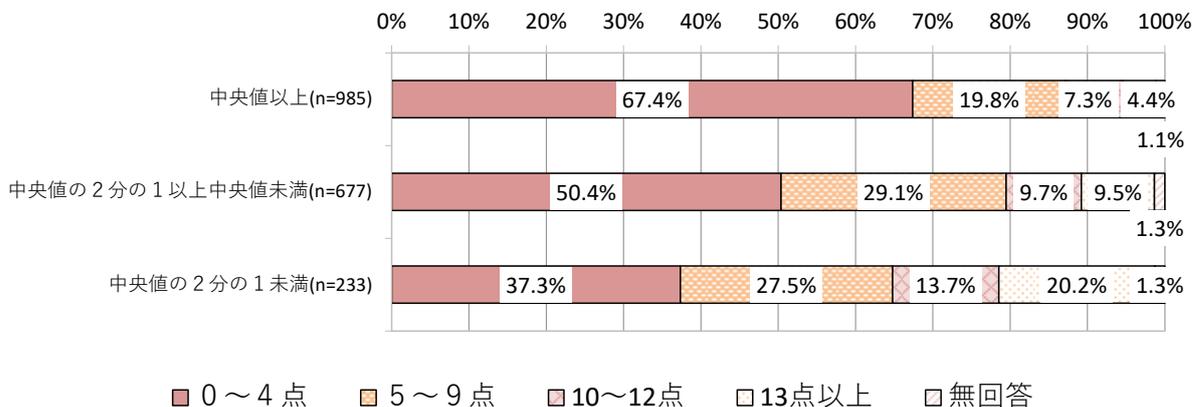
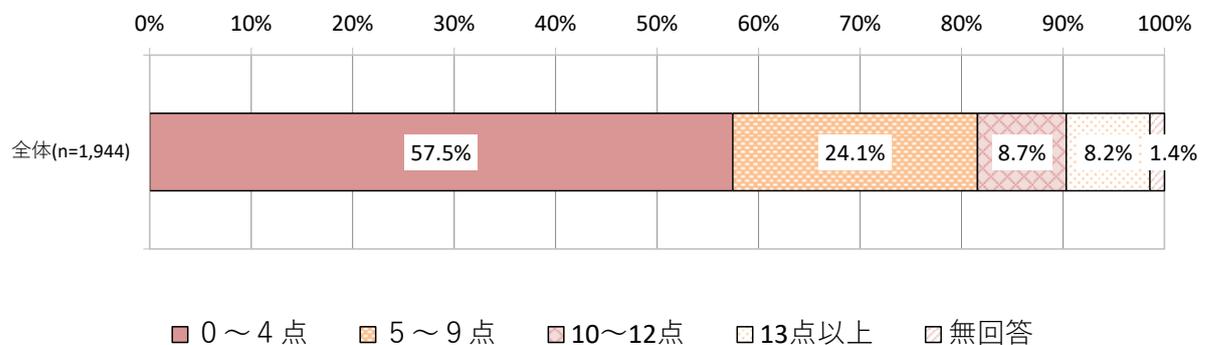
- a. 神経過敏に感じた
- b. 絶望的だと感じた
- c. そわそわ、落ち着かなく感じた
- d. 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた
- e. 何をするのも面倒だと感じた
- f. 自分は価値のない人間だと感じた

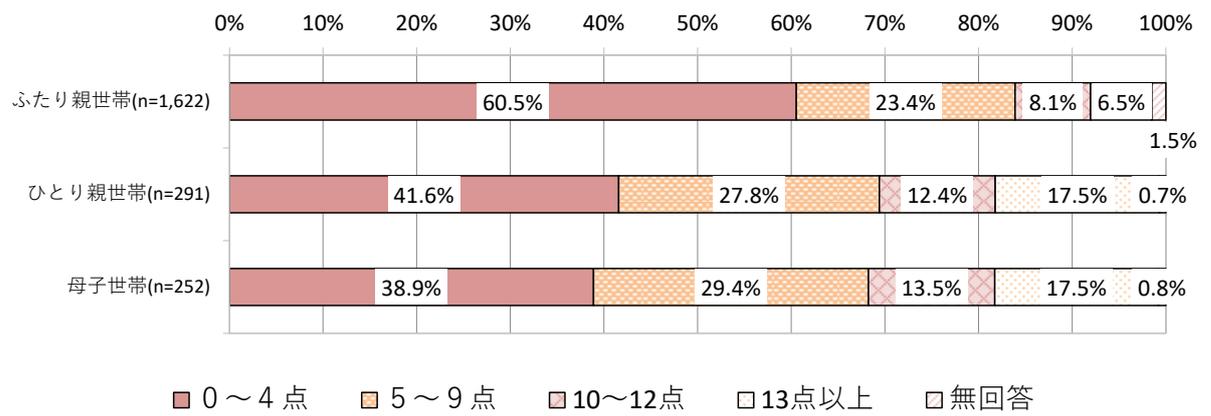
「保護者の心理的な状態」に関して、調査では「K6」と呼ばれる指標を把握するための6つの項目を設定した。

この6つの調査項目の結果を足し合わせて、K6のスコアを算出した(0~24点)。「うつ・不安障害相当」とされている「13点以上」の割合は8.2%であった。

等価世帯収入の水準別にみると、K6のスコアが「13点以上」の割合は、「中央値以上」の世帯では4.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では9.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では20.2%となっている。

世帯の状況別に見ると、K6のスコアが「13点以上」の割合は、「ふたり親世帯」では6.5%、「ひとり親世帯」全体では17.5%、「母子世帯」のみでは17.5%となっている。





(2) 生活満足度

保護者票問 25

全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（SA）

最近の生活の満足度については、「0～2」に該当する割合が6.8%、「3～4」に該当する割合が13.5%、「5」に該当する割合が17.6%、「6～7」に該当する割合が25.3%、「8～10」に該当する割合が35.6%となっている。

満足度が高い方の回答（6～10）割合は61.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「6～10」に該当する割合は39.5%で、「中央値以上」の世帯と比べて生活満足度が低くなっている。

世帯の状況別についてみると、「ひとり親世帯」では、「6～10」に該当する割合は42.3%で、「ふたり親世帯」と比べて生活満足度が低くなっている。

